

# 大分市 若者活躍推進プラン



2024年(令和6年)3月 大分市

## はじめに



少子高齢化の急速な進展により、我が国の人口は2008年（平成20年）の1億2,808万人をピークに減少に転じており、本格的な人口減少社会を迎えております。また、地域別に人口動態をみると、東京圏などの大都市圏をはじめとする都市部に人口が集中しており、人口の少ない地方では、雇用の問題やそれに伴う若者の減少を背景に、地域の担い手の確保が喫緊の課題となっております。

本市の人口も、2016年（平成28年）から継続して減少し、進学や就職を機に市外に出ていく若者も多くなっております。それに伴い、地域コミュニティの弱体化や地域経済の停滞など、まちの活力の低下が懸念され、未来を担う若者が地域の活動に限らず、社会の様々な場面に参画し、活躍することがより一層求められております。

こうした中、本市では、若者の成長及び社会参画を促進し、若者の持つ活力が循環するまちの実現を図るため、2022年（令和4年）に「大分市若者応援条例」を制定し、本条例に基づき、若者の活躍推進に関する施策を実施するため、「大分市若者活躍推進プラン」を策定いたしました。

今後は、本プランに基づき、若者をはじめとする市民、地域コミュニティ、学校等、事業者、市民活動団体等の関係機関や関係団体等の皆様と連携しながら、若者活躍推進に取り組んでまいりますので、皆様のより一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

結びに、本プランを策定するにあたり貴重なご意見、ご提言をいただきました市民の皆様、関係機関、関係団体各位に心からお礼を申し上げます。

2024年（令和6年）3月

大分市長 足立 信也

# 目次

## ● 本編

1	計画策定の趣旨	1
2	計画の位置付け	2
3	計画の期間	2
4	計画の対象とする若者	2
5	基本方針	2
6	若者の活躍推進に関する施策	4
	施策1 若者がつながる、若者をつながる	4
	施策2 若者の声を聴く、若者の声を反映する	8
	施策3 若者のチャレンジを応援する	12
7	目標指標	15
8	計画の推進及び評価・検証	15

## ● 資料編

資料1	インターンシップ実習生による意見交換会	17
資料2	大分市総合計画等策定若者ワークショップ	20
資料3	民間企業の若手職員との異業種交流会	26
資料4	関係者アンケート	27
資料5	採用4年目職員アンケート	34
資料6	新たな総合計画等の策定に向けた若者アンケート	38
資料7	大分市若者応援条例	57

## 1 計画策定の趣旨

全国的に少子高齢化が進み、本市においても人口減少社会が到来する中で、進学や就職を機に市外に出ていく若者が多くなっており、社会の担い手が減ることによるまちの活力の低下が危惧されています。

こうした中、未来を担う若者が社会の様々な場面に参画し、夢や希望を持って生き生きと活躍するためには、若者の意見を反映する仕組みや、若者の活動に対する支援などを充実させ、若者の持つ能力や行動力を十分に発揮できる環境を整備することが必要です。

また、地域の活動やまちづくりへの参加を通して多様な経験を積むことは、若者自身の成長につながり、その成長を若者自身が実感することで、活動の企画段階などへの参加や社会の様々な場面での活躍が期待されます。

このような認識のもと、若者の取組を社会全体で応援し、若者もまた地域や社会の取組に協力することで、若者が持つ活力の循環を社会に生み出すとともに、新たな世代にもその活力が循環するまちを実現するため、大分市若者活躍推進プランを策定し、若者の活躍推進に関する施策を総合的かつ計画的に進めていきます。

## 2 計画の位置付け

大分市若者応援条例（令和4年大分市条例第52号。以下「条例」という。）第11条に基づく、若者の活躍推進に関する施策を総合的かつ計画的に推進するための基本計画です。なお、本計画の実施に当たっては、本市の最上位計画である「大分市総合計画」をはじめ、各種個別計画との整合性を図るものとします。

### 3 計画の期間

2024年度（令和6年度）から2028年度（令和10年度）までの5年間とします。

### 4 計画の対象とする若者

条例第2条第2号に定めるとおり、おおむね16歳から29歳までの者とします。

### 5 基本方針

『若者が持つ活力の循環を社会に生み出すとともに、  
新たな世代にもその活力が循環するまちの実現』

若者が地域や社会の取組に関心を持って参加する流れをつくり、若者が持っている活力と行動力を社会につなげ、広げるとともに、次の世代が若者になったときにその流れが受け継がれ、同様に活躍したいと思えるまちの実現を目指します。



## 大分市で活躍する若者のイメージ

“自らの持っている力を存分に発揮し、  
様々なジャンルで活躍することができる”



“自らの意思で社会に参画し、  
やりがいや生きがいをもつことができる”



“同世代や異なる世代とつながり、新しいことにチャレンジできる”

## 6 若者の活躍推進に関する施策

### 施策1 若者がつながる、若者をつながる

#### 【現状と課題】

本市が2023年（令和5年）11月に実施した新たな総合計画等の策定に向けた若者アンケート※（以下「若者アンケート」という。）の結果では、「学校や職場以外の人と交流する機会がありますか」の問いに対して、48.2%の方が「全くない」、「あまりない」と回答しており、「学校や職場以外の人とどうい交流をしたいと思いますか」という問いに対する回答は、「祭りなどの地域行事」が44.7%と最も多く、次いで「キャンプ、川遊びなどの自然体験」が23.4%、「スポーツ活動」が23.0%となっています。

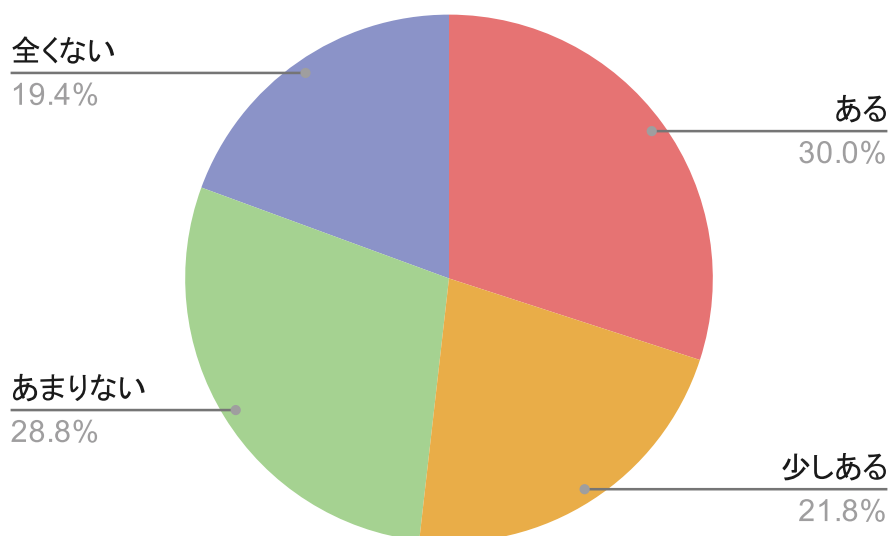
また、「市政情報や大分市が実施するイベントなどの情報をどの程度知っていますか」という問いに対して、52.5%の方が「イベントの名前など部分的に知っている」と回答する一方、33.2%の方が「全く知らない」と回答しています。

※新たな総合計画等の策定に向けた若者アンケート（資料編 P38～P56）

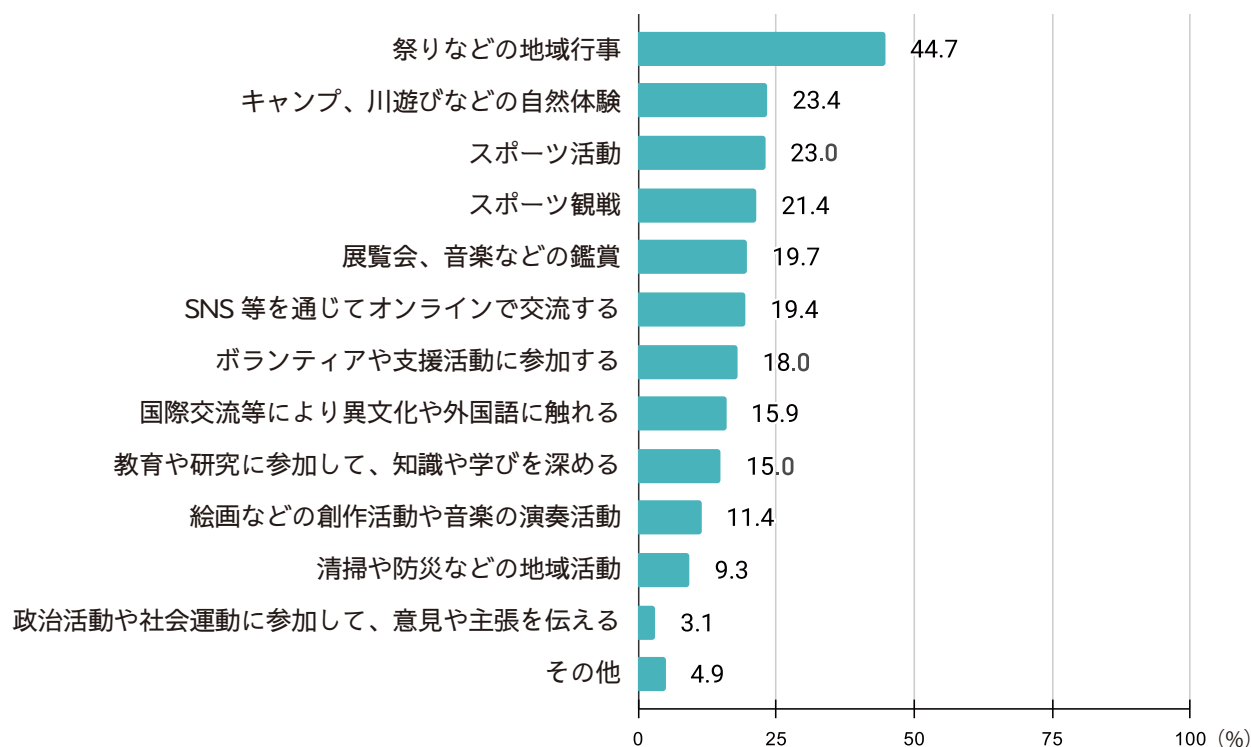
次代を担う若者の将来に対する意識などを把握し、その結果や意見を反映させるために実施するもの

対象者：無作為抽出した市内在住の16歳～29歳 3,000人

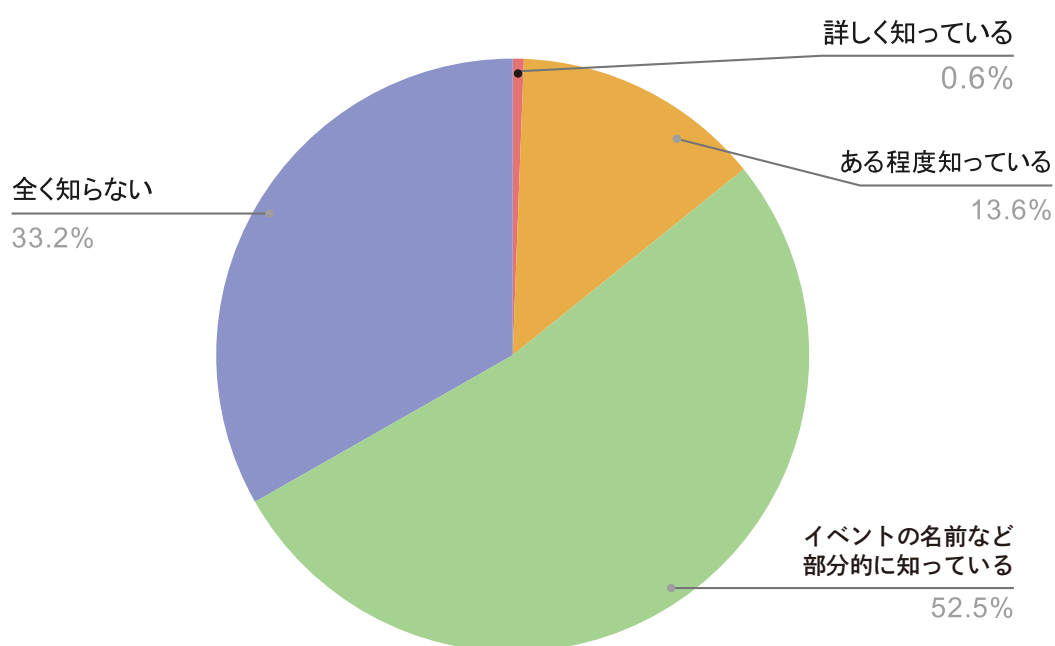
#### ◆あなたは、学校や職場以外の人と交流する機会がありますか（n=674）



◆あなたは、学校や職場以外の人とどういった交流をしたいと思いますか  
(3つまで回答) (n = 674)



◆あなたは、市政情報や大分市が実施するイベントなどの情報をどの程度知っていますか (n = 674)





また、若者による意見交換会※やアンケート※の結果では、次のような意見がありました。

※若者による意見交換会（資料編 P17 ～ P26）

※アンケート（資料編 P27 ～ P56）

- 広報にSNS等をうまく活用してほしい
- 同世代や異なる考えを持つ人との交流の機会が少ない
- 転勤で大分市に来たので、職場の人以外と交流がなく、友達が欲しい
- 自分がしたいことがあっても何から始めればいいのかわからないので相談や交流できる場が必要
- 若者が市政について知る機会がない
- 年配の方の良いところと若者の良いところを組み合わせると最強になると思うので違う世代との交流が大切だと思う
- 同じ所を目指す仲間に出会えるような、若者が交流する機会が増えると嬉しい
- 県外の積極的に行動している同世代や、意識の高い同世代に出会う機会を設けてほしい
- 似た趣味を持つ人が集まるイベントがあると良い



こうした意見等を踏まえ、大分市内の若者同士だけでなく、若者とあらゆる立場の人、大分市外にいる若者との出会いの場として、様々な交流機会の創出が求められています。

また、若者が必要とする情報が十分に行き届くよう、若者が求める即時性と双方向性のあるSNSを活用した情報発信を強化することで、若者と市がつながる機会を増やすことが必要です。

### 【主な取組】

- ◆ 若者の意識やトレンドに係る情報収集に努めます。
- ◆ 若者にとって身近なSNSを活用し、積極的に情報を発信します。
- ◆ 様々なイベントの開催等を通じて、市内外の若者同士の交流をはじめ、異なる世代との交流を図ります。



## 施策2 若者の声を聴く、若者の声を反映する

### 【現状と課題】

2022年度（令和4年度）に内閣府が実施した社会意識に関する世論調査※の結果では、「あなたは、全般的にみて、国の政策に国民の考えや意見がどの程度反映されていると思いますか」の問いに対して、18歳から29歳までの76.9%の方は、「ほとんど反映されていない」、「あまり反映されていない」と回答しています。

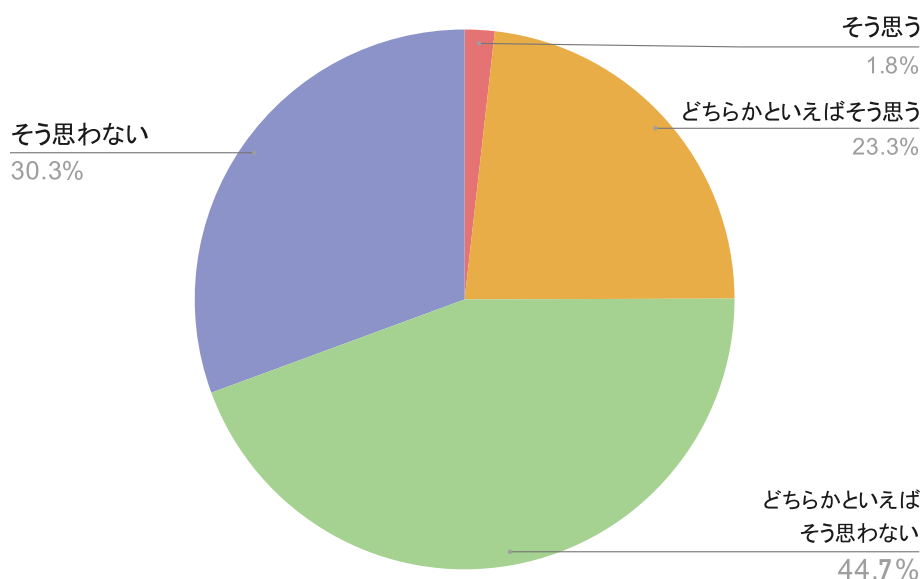
若者アンケートの結果では、「市政に若者の意見が反映されていると思いますか」の問いに対して、75%の方が「そう思わない」、「どちらかといえば、そう思わない」と回答しています。一方で、「大分市に若者の声を届ける場があれば利用したいと思いますか」の問いに対して、59.1%の方が「利用したい」と回答し、11.4%の方が「利用したいと思わない」と回答しています。「利用したいと思わない理由」として、「若者の声を届けても何も変わらないと感じている」との回答が51.9%と最も多くなっています。

### ※社会意識に関する世論調査

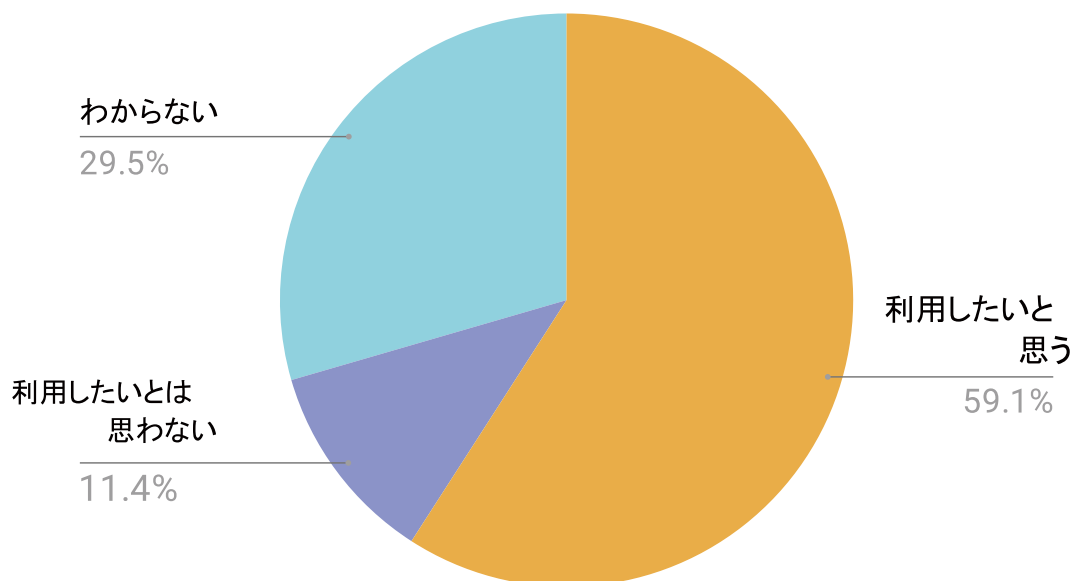
内閣府が社会や国に対する国民の基本的意識の動向を調査し、広く行政一般のための基礎資料とするもの

対象者：全国18歳以上の日本国籍を有する者3,000人

### ◆あなたは、市政に若者の意見が反映されていると思いますか（n=674）

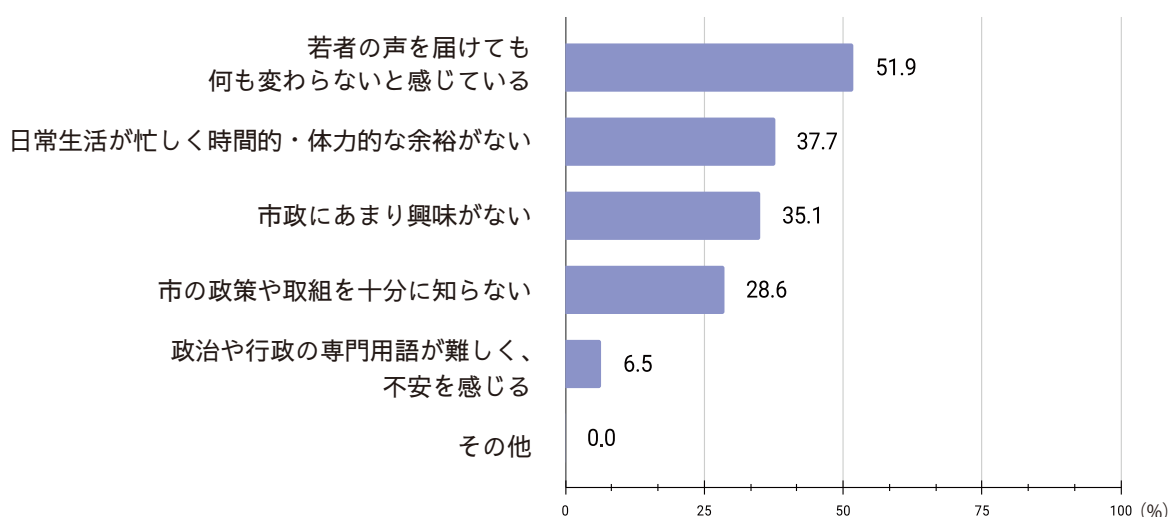


◆あなたは、大分市に若者の声を届ける場があれば利用したいと思いますか  
(n = 674)



◆大分市に若者の声を届ける場を利用したいと思わない理由は何ですか  
(2つまで回答) (n = 77)

※「あなたは、大分市に若者の声を届ける場があれば利用したいと思いますか」の問いに対して「利用したいとは思わない」と回答した方のみ回答



また、若者による意見交換会やアンケートの結果では、次のような意見がありました。

- 市政に若者の声をどのように伝えればよいのか分からない
- 自分一人の意見が市政に反映されると思えず、そもそも声を挙げようと思わない
- 若者の声を適切な相手に届ける仲介者・窓口があると嬉しい
- 出向くのではなくインターネットから意見を伝えられるようにしてほしい
- 若者同士で話を持ち合い、意見を交わす場があると今よりもっと地域の問題に対して意欲的に考える機会ができると思う
- アンケートのような意見が言える場を設けてほしい
- 若い力を主体としたイベントや企画を採用してみてはどうか
- 若者が活躍できる政策を行うには、第一に若者の選挙の参加を促す必要がある



このように、若者の声が市に届きにくい現状があるため、若者がどのような悩みを抱え、市政に何を期待しているかなど、若者の声を十分に把握し、その声を市政に反映する中で、若者が持つ発想や活力をまちづくりに十分に生かすことが必要です。

### 【主な取組】

- ◆ アンケート調査等により、若者の意見の収集に努めます。
- ◆ 若者の目線から市に対して事業やアイデアの提案等を行う若者会議を設置します。
- ◆ 市が設置する審議会等の委員への若者の参画を促進します。
- ◆ 若者に対し、政治や選挙意識の高揚を図ります。

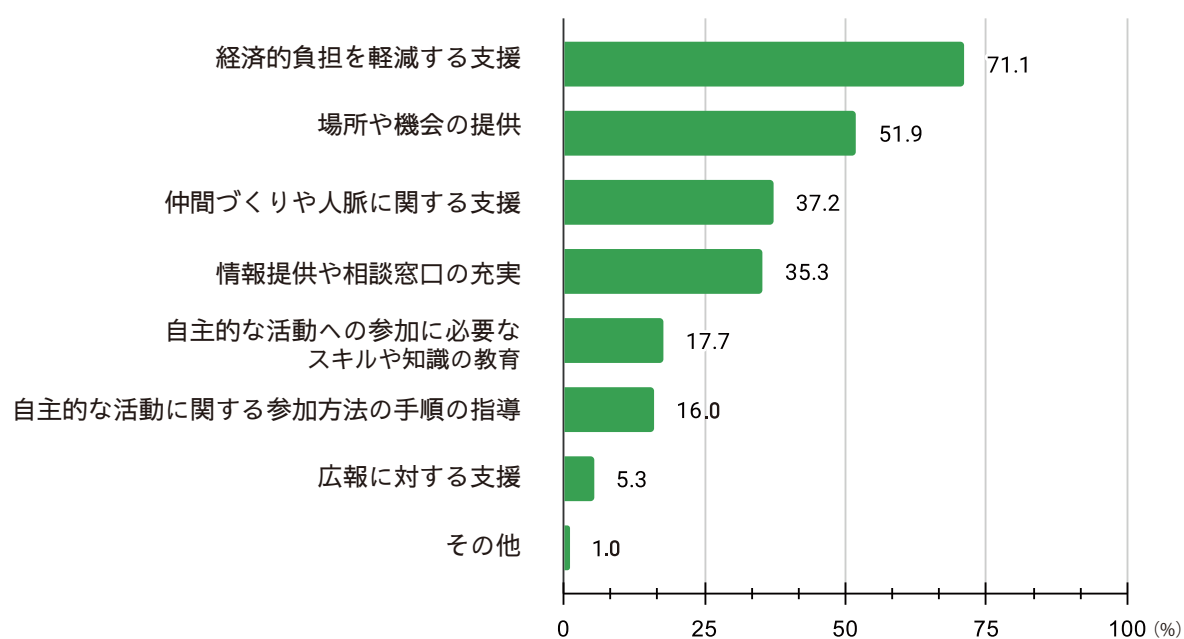


### 施策3 若者のチャレンジを応援する

#### 【現状と課題】

若者アンケートの結果では、「自主的な活動をしやすくするために、どのような支援やサービスが必要だと思いますか」の問いに対する回答は、「経済的負担を軽減する支援」が71.1%と最も多く、次いで「場所や機会の提供」が51.9%、「仲間づくりや人脈に関する支援」が37.2%となっています。

#### ◆あなたは、自主的な活動をしやすくするために、どのような支援やサービスが必要だと思いますか（3つまで回答）（n=674）



また、若者による意見交換会やアンケートの結果では、次のような意見がありました。

- 自分のしたいことが漠然としている人が多いと思うので、イベントや交流をすることで幅が広がると思う
- 起業について学べる機会を提供してほしい
- 自分たち若い世代の人たちが積極的に活動できる場をもっともっと作ると活動しやすくなると思う
- 活躍する以前に、若者が認められ、過ごしやすいまちになればいいと思う
- モチベーションを上げて働ける環境と、仕事以外の場でも生き生きと過ごせることが大事だと思う
- 奨学金制度、学習機会、学習環境の整備等の充実に積極的に取り組んで欲しい





こうした意見等を踏まえ、市民一人一人が若者の活躍を応援する機運の醸成を図る中で、若者の資格取得等の学習機会の提供、起業しやすい環境づくり、若者の市内企業等への就労促進、様々なイベントの開催を通じた活動支援を行うなど、若者のチャレンジを市全体で応援することが必要です。

### 【主な取組】

- ◆ 若者が取り組むイベントの開催等に対する活動場所や情報提供など、自主的な活動を行う若者に対する支援を行います。
- ◆ 若者が起業について学び、実践や相談ができる場を提供することで、若者が起業しやすい環境づくりを推進します。
- ◆ UIJターン就職を希望する若者が必要とする情報を提供するなど、若者の市内企業等への就労を促進します。
- ◆ 学生の負担軽減と修学後に大分で活躍する人材の育成・確保を目的に新たな奨学資金制度を導入します。
- ◆ 様々な資格取得や趣味・実用に関する知識・技能を高めるための学習機会を提供します。
- ◆ 様々なイベントの開催を通じて、若者の文化的な活動やスポーツ活動を支援します。
- ◆ 市民一人一人が若者の活躍を応援する機運の醸成に努めます。



## 7 目標指標

本計画を推進するため、目標指標を以下のとおり設定します。

指標	現状値 【2023年度（令和5年度）実績】	目標
「若者が活躍しやすいまち」※ と感じる市民の割合	20.2%	前年度より向上

※「若者が活躍しやすいまち」とは、「若者が自らの持っている力を存分に発揮する中で、社会に貢献するやりがいや生きがいを感じることができるまち」とします。

## 8 計画の推進及び評価・検証

本計画を推進するに当たっては、若者、市民、地域コミュニティ、学校等、事業者、市民活動団体等と相互に連携を図るとともに、施策の進捗状況について評価・検証を行い、必要に応じて改善を図ることで、本計画の実効性を確保します。



〈挿絵イラスト：泊麻未（とまりあさみ）〉

1993年生まれ。2020年に大分市地域おこし協力隊（文化芸術振興部門）として東京都から移住。協力隊任期中から、旧野津原中部小学校を活用したアトリエで地域をつなぐ活動を実施。2023年に任期満了後も野津原を拠点に大分県内各地でアートワークショップや、アートを通じてコミュニティを育む活動を行う。

大分市  
若者活躍推進プラン

# 資料編



## 資料1 インターンシップ実習生による意見交換会

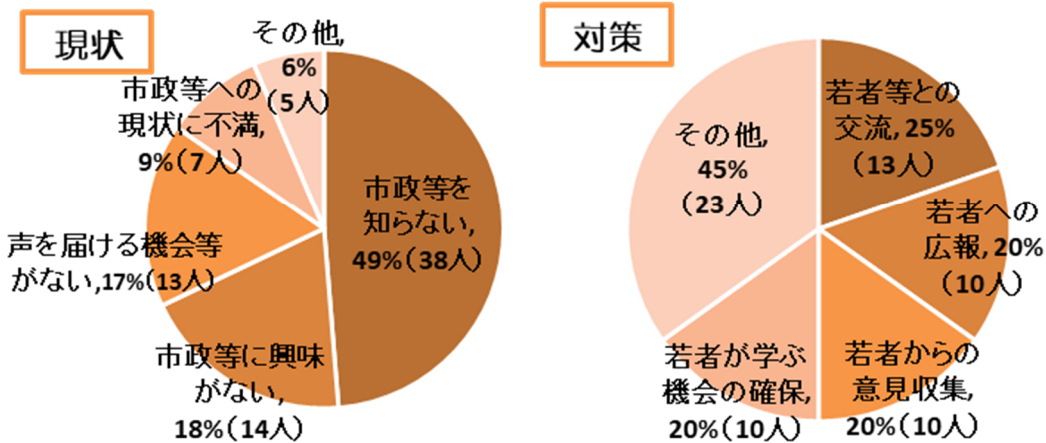
### 1. 実施の概要

- (1) 実施日：2023年（令和5年）8月16日（水）
- (2) 場所：大分市役所本庁舎8階 大会議室
- (3) 参加人数：40名
- (4) 実施内容：「市政や地域に若者の声が届かない」又は「同世代との交流機会の確保」をテーマに、「現状」と「対策」について意見交換を行った。

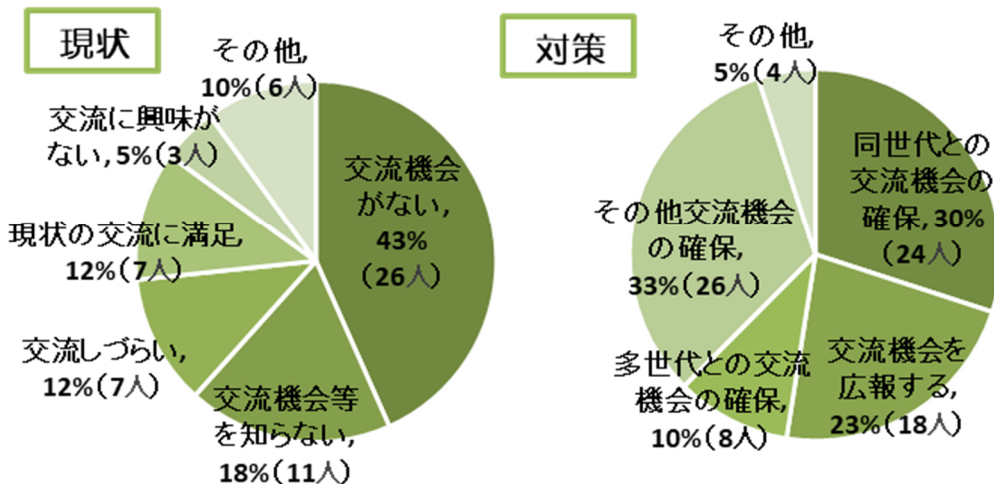
### 2. 意見の概要

#### (1) カテゴリー別

#### テーマ1：若者の声が市政や地域に届かない



#### テーマ2：同世代との交流機会の確保



## (2) 主な意見

### 現状（若者の声が市政や地域に届かない）

- ・ 市政や地域についてよく知らない。
- ・ 声の届け方を知らない。
- ・ 声を届けたところで、その後どうなったかわからない。
- ・ 声を挙げても届いているかわからない。
- ・ 市政に対してどんなことを意見したらいいかわからない。
- ・ 市政や地域の興味がない。
- ・ 県外に出て、地元への関心がない。
- ・ 声を挙げる時間的余裕がない。
- ・ 若者が地域と関わる機会が少ない。
- ・ 市政や地域について知る機会がない。
- ・ 若者同士で意見交換する場がない。
- ・ 声を届けたところで反映されるイメージがない。
- ・ 高齢者の意見が優先される気がする。
- ・ 自分一人の声が市政に反映されると思えず、声を挙げようとも思わない。
- ・ 若者の投票率が低い。

### 対策（若者の声が市政や地域に届かない）

- ・ 地域コミュニティのつながりを強くする。
- ・ 多世代がかかわる機会をつくる。
- ・ 若者と地域の交流。
- ・ 若者が交流できる場をつくる。
- ・ 学校や会社で講演会や話し合いの場をつくる。
- ・ 市役所と若者が一緒に政策などをつくる。
- ・ 地元に残っている若者の意見表明の場をつくる。
- ・ 意見を発する場所やイベントを増やす。
- ・ どのように政策がつくられているか周知する。
- ・ 若者のための施策をSNSで広報する。
- ・ 市民の声で実現されたものを広報する
- ・ SNSを活用して、意見ボックス設置。
- ・ ボランティアに参加する。
- ・ 学校で市政について学ぶ機会を設ける。
- ・ 選挙に行くと地元のお店で使えるクーポン券を配る。

#### 現状（同世代との交流機会の確保）

- ・決まった集団でしか交流する機会がない。
- ・自分で行動しないと新しい交流の機会がない。
- ・コロナで交流できる人が減った。
- ・交流できるイベントが少ない。
- ・SNSでは「発信」は増えたが、「交流」まではいっていない。
- ・みんなで集まる場所が少ない。
- ・地域の集会で同世代と関わるイメージがない。
- ・交流する方法が分からない。
- ・交流機会があることを知らない。
- ・気軽に行くことが困難な地域でのイベントには参加できない。
- ・コロナで友だちを誘いづらい。
- ・一人で輪に入りにくい。
- ・SNSで関わる機会がある。
- ・同世代に交流機会を求めている人が少ない。
- ・知り合いがいないと行く気にならない。

#### 対策（同世代との交流機会の確保）

- ・地域の集まり、祭りなどのイベントを開き、若者を呼ぶ。
- ・同じ地域で違う学校に通う人との交流の場をつくる。
- ・自分の生活する地域にどの程度同じ世代の人がいるか知る機会をつくる。
- ・同世代交流の場があることを知ってもらえるように広報する。
- ・SNSで広報する。
- ・交流で得られたことを参加者に発信してもらう。
- ・どんなイベントをしてほしいか募集する。
- ・若手職員との交流機会をつくる。
- ・SNSで交流できる機会を増やす。
- ・自ら行動する意識付け（交流場所を増やす）
- ・中心部だけでなく、色々な場所で交流の場を設ける。
- ・遠方の人のためにオンラインで開催する。
- ・オンラインでつながってから対面でつながる。
- ・地区や自治体が定期的にイベントを行う。
- ・社会問題に限らず気楽に交流する機会をつくる。

## 資料2 大分市総合計画等策定若者ワークショップ

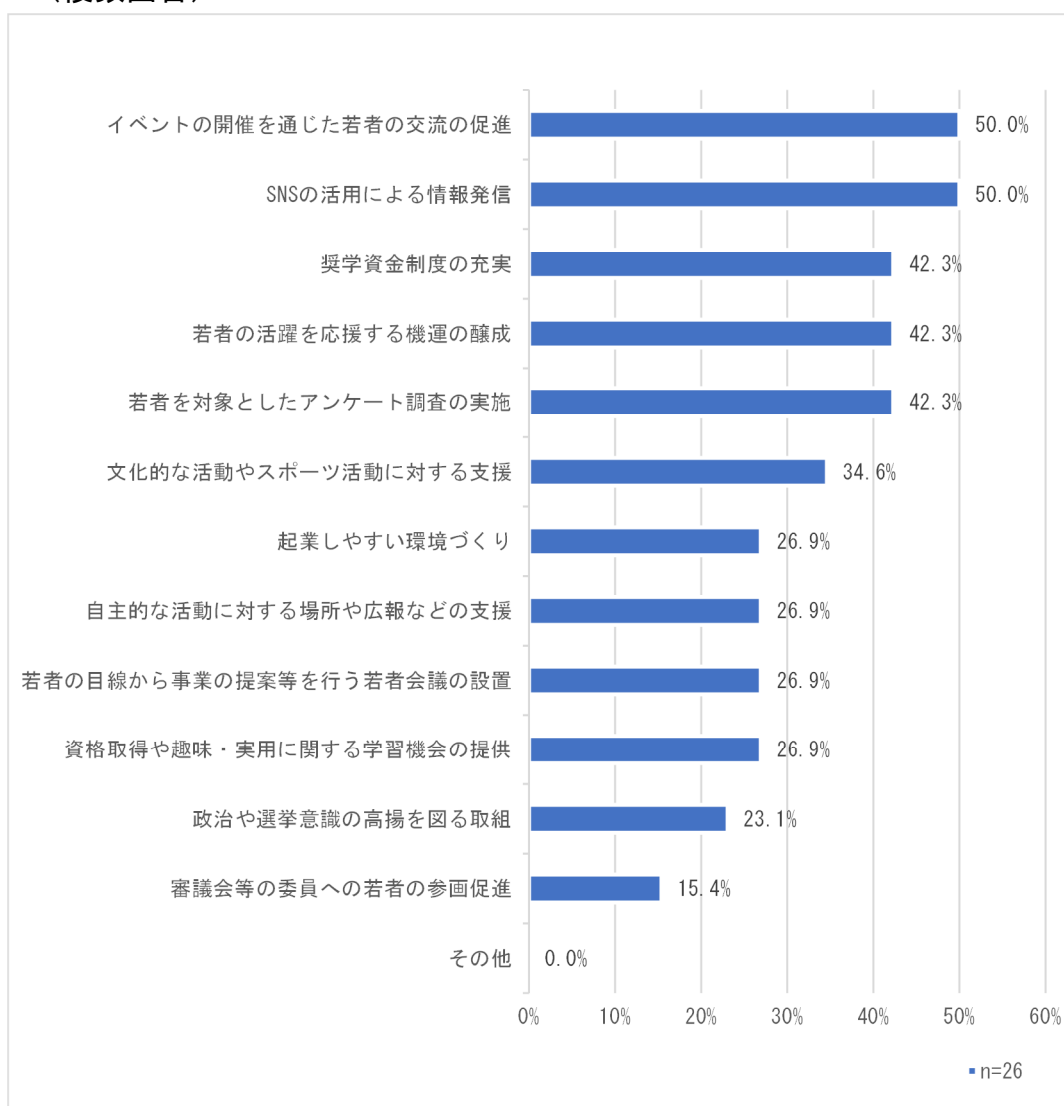
### 1. 実施の概要

- (1) 実施日：2023年（令和5年）11月5日（日）
- (2) 場所：大分市役所本庁舎8階 大会議室
- (3) 参加人数：26名
- (4) 実施内容：事前アンケート等を踏まえ、若者の活躍推進をサポートするために必要と思う具体的な取組及びその理由について、グループワーク・個人ワークを実施した。

### 2. 結果の概要

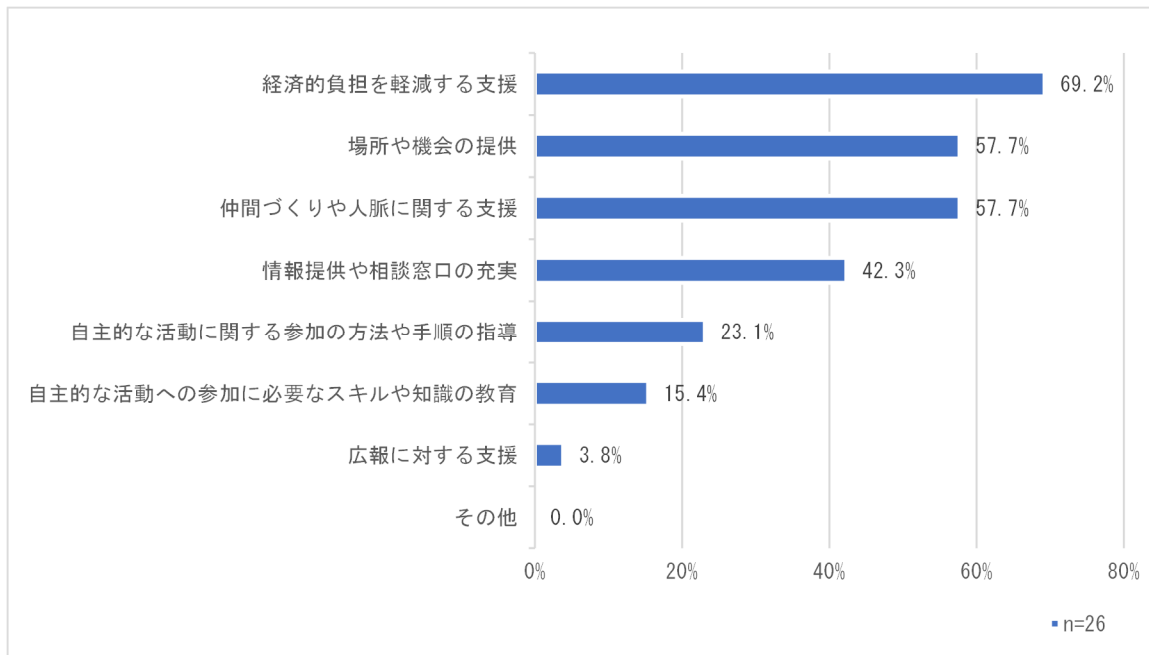
#### (1) 事前アンケート

- Q 若者が活躍するために、大分市に期待することを教えてください  
(複数回答)



Q あなたは自主的な活動（※）をしやすくするためにどのような支援やサービスが必要だと思いますか（3つまで回答）

※文化的な活動やスポーツ活動、ボランティア、起業など、学校や職場以外の場面において自分の意志や判断で行う活動で、自己実現や社会貢献につながるものです。



Q（仮称）大分市若者活躍推進プランやまちづくりについて、ご意見やご提案がありましたらご記入ください

- ・市の計画に関する貴重な機会をいただき、ありがとうございます。進学、就職などで県外に行ってしまう友人が多く、市のことについて考えてみたいと思い、参加しました。大分市の魅力について考えていきたいです。よろしくお願いいたします。
- ・若者の人口流出を防ぐために中津市にあるダイハツ九州のような自動車系の大規模な工場など多種多様な工場を誘致する。
- ・とても良いプランだと思う。
- ・私は大分市の団地などを再利用することを考える。団地の利点として、多くの人が1カ所に集まるので、人脈を形成することができる点が挙げられる。団地をリノベーションし、安く売りに出すことで多くの若者の活動の拠点となると考える。
- ・少子高齢化の問題解決や地域活性化のためには私自身も含めた若者の力が必要だと考えているため、「（仮称）大分市若者推進活躍プラン」は素晴らしい取り組みだと感じています。また、この取り組みに参加させていただけるとのことを大変うれしく思うとともに、大分市の発展に少しでも力になれるよう一生懸命取り組んでいきます。
- ・若者向けの助成金を作ってほしい。
- ・大分について考える機会はあまりないのでこういうワークを増やしていただけると嬉しいです。



## (2) 参加者の発言及びワークシート記載内容

### 仕事

- ・大分市の支援制度や補助に関する情報の発信（自然と情報が手元に入ってくる体制）。
  - そもそも色々な制度や補助があることを知らない。
  - チャレンジをするにあたってハードルがいくつもある中で、「始める」ということが一番ハードルが高い。情報が自然に入るようにすることで始めるためのハードルは下がる。
- （具体案）
  - TVなどのマスメディアの活用
  - 駅などでのポスターの掲示
  - SNSの活用（SNSを通して相談できる窓口の設置）
- ・人脈を広げるための交流会などの開催。
  - 人脈が広がる中でしか手に入らない情報がある。
  - 行政主催の交流会だと安心感がある。
- （具体案）
  - 成功例や実体験を有する企業や団体の人と若者をつなぐ交流会。また、その後も何か始めるときにはその方達に伴走支援してもらいたい。  
（市役所に相談したとしても、その相談内容は市役所で解決は難しいと思っている）。
- ・補助金の活用やイベントへの出店などのハードルを下げる。
  - ハードルが下がることで若者が気軽にチャレンジできるようになる。
- ・起業について学べる場や身近に相談できる体制の構築。
  - 将来的に起業も視野に入れている。
  - 就活の相談は経験者である大学の先輩などが近くにいるから話しやすい。
  - 定住するには「働く場所」が必要だが、現状は働きたい企業（選択肢）が少ない。
- ・補助金の充実。
  - 例えば農業でも新規就農、農機具について知らない人も多く、どの補助金が欲しいのかもイメージできない。そもそもの情報がほしい。
- ・様々な種類の企業が大分市に進出してほしい。
  - 働く場が増えてリモートワークができれば将来的に戻ることができる。
  - 将来的に映像関係の仕事がしたい。

## 学び

- ・セミナーや個別相談の場の提供。  
→ 何を知りたいかよりも前の段階で、何を知れば良いのかもわからないのが現状。
- ・資格取得に役立つ学習会の開催。  
→ 就職をする上で必要な資格の取得をサポートしてほしい。
- ・若者の海外旅行への補助金。  
→ 学びの機会の場を増やしたり、移動を容易にすることで若者が活躍するための基礎を作る。
- ・大学（国公立）を増やす。

## 趣味

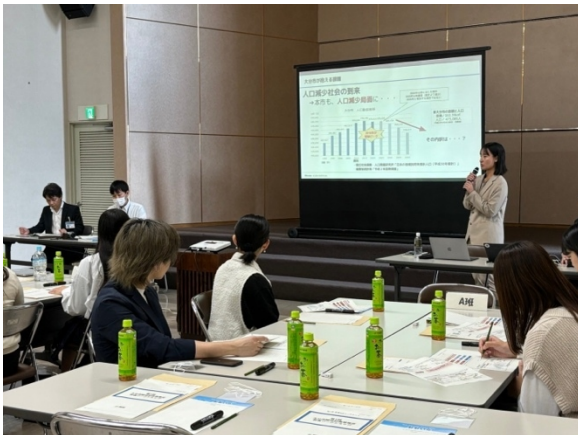
- ・人脈を広げるための場、気軽に集まれる場の提供。  
→ 色々な話を聞くことができ、共通の趣味を見つけられる場がほしい。  
→ 商工会議所では若者と一緒に行うイベントや企画を行っているがなかなか浸透していない。
- ・趣味に関する金銭的な援助。  
→ 社会人になっても楽器を続けたいが高額なため、貸し出しや金銭補助があるとありがたい。

## 子育て

- ・7時から20時まで開いている託児所の設置。  
→ 結婚して子どもが産まれても仕事は続けたい。働きながら仕事をするためには遅くまで開いている託児所がほしい。

その他（複数のカテゴリーに該当する内容を含む）

- ・ 学校や年齢の垣根を超えた交流をすることができるイベントの開催。
- ・ SNSを活用して同じ意見の人と触れ合う機会の創出。
  - 仲間が増えることで、「これがしたい」と思った時に頼ることができる人と繋がる。
- ・ 飲食店の支払い方法（決済アプリ）の普及。  
（手法）
  - 事業者にもメリットを周知することで取り扱う店を増やす。
- ・ 大分市のベッドタウンとしての魅力の発信。
  - 別府など観光地や空港へのアクセスもよく、「住みやすい」ことが定住するためには必要。
- ・ 若者の活躍を推進するための条例があることの周知。
  - 大分市は若者をサポートしてくれるという意識付けをすることでチャレンジしやすくなる。
- ・ 年代別のサポート内容の紹介。
- ・ 様々な体験ができる場の提供。



### 3. 考察

#### “チャレンジしたいこと”を見つけられていない参加者が多数、交流会の開催や相談体制の構築を希望

グループワークにおいて「したいことを見つけるための交流会を開いてほしい」、「様々な人と交流する中でしたいことを見つけたい」といった発言が多数あり、若者の傾向として仕事や趣味を問わず将来自分がしたいことやありたい姿が明確に定まっていないことが読み取れる。

したいことを見つけるために、同世代あるいは性別や年齢の垣根を超えた参加者同士での交流会やイベントへの参加を希望する参加者が多く、大分市が主催のイベントであれば安心して参加できる、という意見も聞かれた。事前アンケートにおいても、「6. イベント開始を通じた若者の交流の促進」は半数の参加者が希望した。

また、したいことがあった場合にも新しく行動を起こすことに心理的ハードルを感じている若者が多く、まずは何から始めたらいいのかということから相談できる体制や、チャレンジを始めた後にも伴走してサポートしてもらえる体制を望む声も聞かれた。

#### SNSなどを活用した情報発信や気軽に相談できる体制の構築を希望

“チャレンジする”ことに心理的及び金銭的にハードルを感じている若者が多い。解決策として、「SNSで若者に対する支援制度や補助金に関する情報を発信してほしい」といったSNSの活用を望む声が多数聞かれた。事前アンケートでの大分市への期待に関する質問においても、「4. SNSの活用による情報発信」を半数の参加者が希望している。

また、一方的な情報発信にとどまらず、「SNSで気軽に相談できる体制を整えてほしい」といったSNSを活用した交流や相談体制を望む声も聞かれた。

#### 経済的な支援を望む参加者が多数、生活から仕事まであらゆる面での金銭的補助を希望

事前アンケートより、自主的活動のために必要なサポートとして3分の2以上の参加者が「1. 経済的負担を軽減する支援」を求めている。当日のワークショップの中でも、市内の転居に対する補助金や通勤・通学での公共交通機関利用に対する助成金、趣味に利用する道具への補助金など、金銭的な支援を求める意見が多数挙げられた。

### 資料3 民間企業の若手職員との異業種交流会

#### 1. 実施の概要

- (1) 実施日：2023年（令和5年）11月10日（金）
- (2) 場所：大分市役所本庁舎8階 大会議室
- (3) 参加人数：30歳代以下の市職員 24名  
18歳～29歳の民間企業の職員 23名  
※当該民間企業若手職員の特徴…
  - ・就職を機に大分市に転入した者が多い。
  - ・大在地区や坂ノ市地区に居住する者が多い。
- (4) 実施内容：交流やイベント情報に関する情報発信等について意見交換を行った。

#### 2. 意見の概要

- ・地元が県外で、転勤で大分市に来たため、職場以外での交流はほとんどなく、会社の同僚と遊ぶことが多い。
- ・市内居住の同世代の若者と交流する機会がないため、今回のような意見交換の機会ありがたい。
- ・実際には交流する場があるのかもしれないが、よくわからない。どこに行けば交流できる場があるか等知りたい。
- ・スポーツやサウナ好きの集まりなど、似た趣味を持つ人が集まるイベントがあったらいいなと思う。
- ・イベント情報等がなかなか入って来ない。
- ・市報はたまに見ているが、それ以外の公式Facebook、Instagram、LINE等があることは知らなかった。
- ・どのような祭りがあるか、祭りの内容もあまりわかっていないので、参加したり、行ったりできていない。
- ・同年代のイベントがあると参加しやすい。
- ・一緒にイベントに行く人がいるとより参加しやすい。一人ではなかなか行けない。
- ・起業しやすい環境づくりとして、「オオイタミライベース」のような若者の交流や起業を支援する施設があることを初めて知った。セミナーに参加したり、若者同士で交流したりできることは、起業を目指す人にとって心強いのでは。

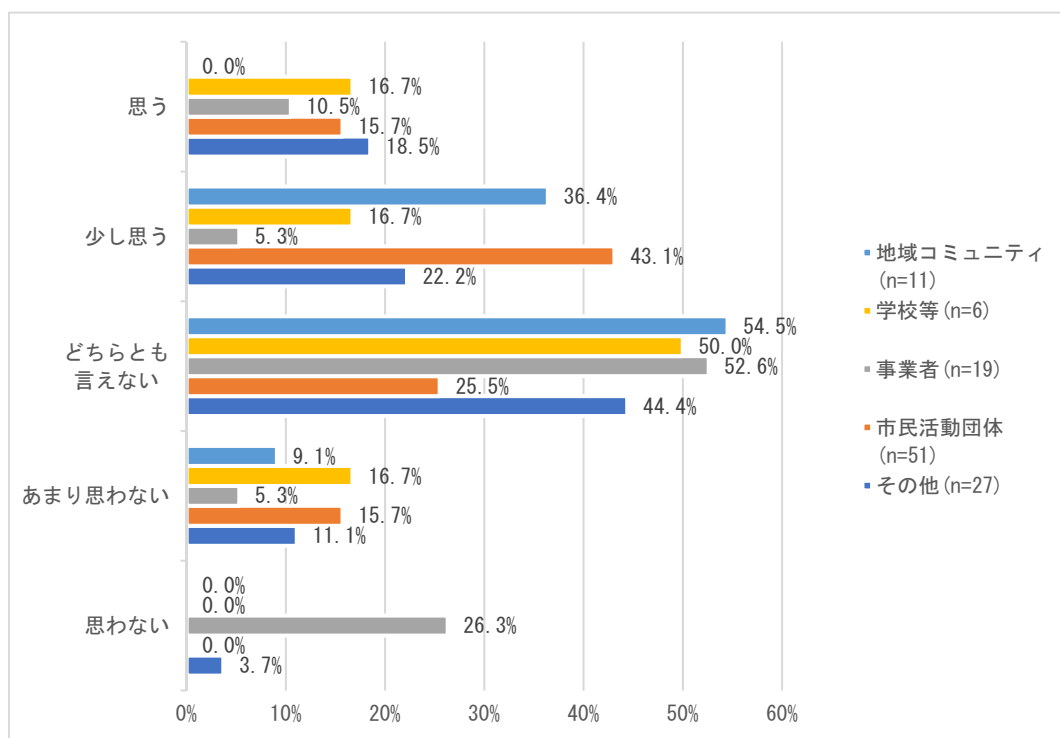
## 資料4 関係者アンケート

### 1. 実施の概要

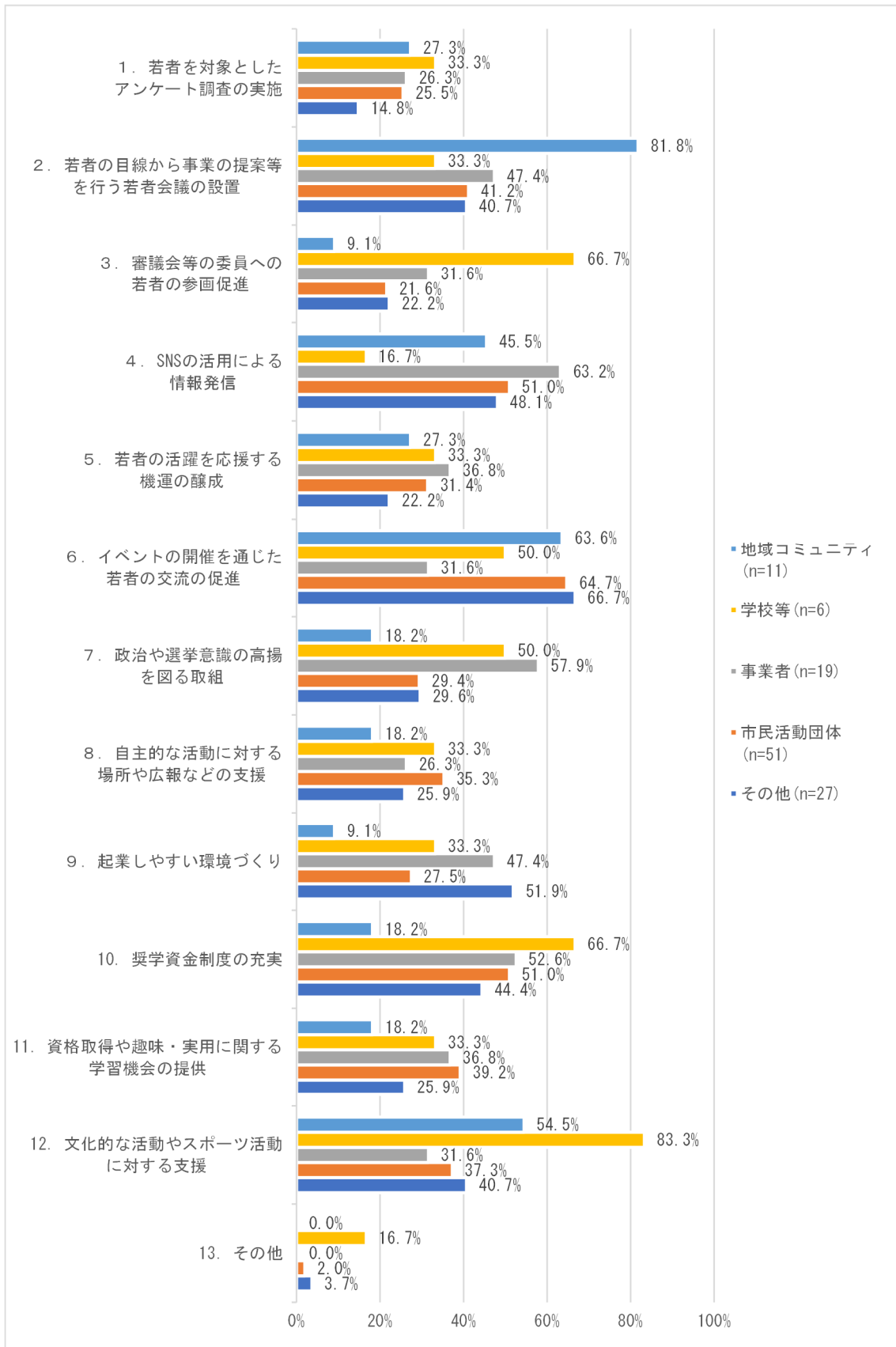
- (1) 調査の目的：大分市若者応援条例（令和4年大分市条例第52号）の目的である「若者の成長及び社会参画を促進し、もって若者の持つ活力が循環するまちの実現」に向け、関係者の意見を聴き、若者の活躍推進に関する施策を実施するための計画を策定する上での参考資料とするために実施するもの。
- (2) 調査期間：2023年（令和5年）10月16日（月）～11月10日（金）
- (3) 調査方法：用紙の配布又はインターネットによる無記名アンケート
- (4) 調査の対象：
  - ① 対象者 地域コミュニティ、学校等、事業者、市民活動団体 等
  - ② 回収人数 114人
- (5) 本アンケートの注意点
  - ① 構成比は、少数第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100%になりません。
  - ② 2つ以上の回答を求めた複数回答の設問の場合、その回答比率の合計は原則として100%を超えます。
  - ③ 図表中の「n」は、回答者数を示しています。

### 2. 結果の概要

#### Q 大分市は若者が活躍しやすいまちだと思いますか



Q 若者が活躍するために、大分市に期待することを教えてください  
(複数回答)



Q 「(仮称)大分市若者活躍推進プラン」について、ご意見がありましたらご記入ください

① 地域コミュニティ

- ・若者が参加しやすいイベントを広報する。
- ・対象年齢の引き上げ 16歳～35歳
- ・考えを尊重します。
- ・年齢の差はいかんともしがたい。基本を踏まえて色々計画するとよい。
- ・自治会活動に積極的に参加できるように考えています。
- ・活動するための財源確保なければ、計画で終わってしまい、結果的に若者の参画意欲が失せてしまう。本気で考えているのなら、まず財源を！
- ・16歳～29歳と決めず、最初の取組は少し自覚が出てくる35歳～40歳を上限として、上の年齢の近い人から若い人を巻き込んでいくとよいと思う。

② 学校等

- ・ミレニアル世代の特徴を考慮して、SNSやインターネットを活用した制度や学習、支援、交流など、様々な取り組みを行うことでより多くの若者が参加しやすくなると思います。

③ 事業者

- ・若者が16歳～であれば、工業・商業・農業などの高校や大学などいわゆる成功者を講師で派遣し、自分の専門性をより仕事に活かすきっかけづくりをする。大学生では、在学中に起業できる後押しをする。また、1人の若者を育てるよりも、指導できる若者(リーダー)を育て、底上げするイメージの内容もどうでしょうか。企業支援の前に、若く起業している人がさらに発展し、その成果や実務を地域に還元する仕組みづくりが必要。例えば、社員を5名以上雇用する経営者に、設備費や運転資金の利息分を市が補助。現行の人材育成事業に、代表者が30代までの会社(経営者が若い)や20代の社員(社員が若い)が研修を受講するときの補助を上乗せなど、学ぶ機会の確保、促進を行う。
- ・家庭と職場の間にある地域社会で若者が認められ、参加・成果に対して評価や賞賛が与えられるようになってもらいたい。地域社会の顔役と若者の年齢差が小さいといいですね。具体的には40代～50代の地域リーダーと若者のコラボでの活動が活発であってほしい。70代～80代の地域役員が見守る意識であってほしい。
- ・起業といえば別府のイメージが強い。大分県や創造機構など創業支援プロジェクトの案内が高校生の授業に盛り込まれると、益々若者がチャレンジしやすくなり、若者が活躍できるのではと思います。
- ・市民の意識をしっかりと若者に向けさせることが大事。



#### ④ 市民活動団体

- ・その活動自体初耳だったので分かりません。
- ・意見を聞いて取り入れられるところがあればぜひ取り入れてあげて欲しい。
- ・「若者の活躍」という言葉は幅広く何を指しているのかいまいち分からない。そもそも若者が自分たちは活躍している、していない等、俯瞰的に自身を見ている子がどれくらいいるのだろうか？目的が大きくて想像しづらい。  
ただ地域の大人として若者層の支援をしていくことを重要視していきたい。このプランが広い年齢層に知られていくことが重要だと思う。
- ・若者の活躍する場をたくさん広げていってくれる活動は素晴らしいと思います。
- ・このような計画が進んでいることは素晴らしいと思います。
- ・「自主的な活動を行う若者に対して、活動場所や広報などの支援を行います。」という点について、ここでいう「自主的な活動」とはどのようなものを指すのでしょうか。また、広報の支援とありますが、若者がターゲットの活動や若者の参加を呼び掛ける活動であれば、従来の広報（市報への掲載や市役所、支所、公民館等にチラシ設置）は経験上効果があまり期待できないため、どのような方法を考えられているのかも気になりました。
- ・私は、大分に移住して、9年になります。私の住んでいる地域は、昔から住んでいる人と新しい住人との交流が少ないようです。そのため、地域活動は、積極的に参加する機会が少なく、学校関係の付き合いが殆どです。隣は何する人か、分からないのが現実です。
- ・大分市は大人主導のイベントが多く、別府市のようにもっと若いカ主体のイベント、企画を採用してみてもいいと思う。
- ・若者に限定する事はないと思う。
- ・自主的な活動に対する支援や選挙意識の高揚を図る取組は、具体的にどのように行うのか気になりました。
- ・はっきりと変化したかといわれると、変化しているとは思えない。特に政治関係が変わったかはよくわからない。（参加したいとは思えない）イベントは楽しい。
- ・今の時代は、他人との交流やつながりが少なく感じるため、いろんな世代の方とイベントを通じてつながる機会が増えたらいいと思う。

#### ⑤ その他

- ・若者の活躍とは、どんなことを指すのかのイメージがはっきりしない。まずは、既存の場所に若者に参加してもらう事、例えば年長者が決めてしまうような所にこそ若者の参加が必要だと思います。是非頑張って進めてください。
- ・あまり若者が活躍しているというイメージが大分市には無いため、非常に期待しています。

- ・大分県の中核である大分市として、非常にワクワクするものだと感じました。特に、若者会議などのいわゆる「行政感の強いもの」とSNS発信や文化的活動の支援といった「より大衆の興味を起こしやすいもの」双方が入っていることに魅力を感じます。
- ・ぜひ街頭インタビューなどで多様な意見を吸い上げてほしい。わざわざアンケートに回答するタイプの若者はかたよりがあると思いますので、サンプルをまんべんなく吸収するには実際に声をかける、LINEスタンプでモチベーションを上げるなど、何か取っ掛かりが必要だと思います。
- ・施策の項目1つ1つがかなり大きな問題なので、フォーカスをどこに当てるか明確にしてプロジェクトしないと半端になってしまう印象がありました。政治や選挙意識の高揚を図る取組など、十年かけてもいような問題だと思います。多くの若者の声を聴くには、宣伝力のある人を使ってSNSで呼びかけるのが1番だと思います。オンラインやWebアンケートだけでなく、学校の道徳の時間とかで意見を出し合って、学校側がそれをまとめる方法もあると思います。このように、大分市では、若者の声を届ける・聴く仕組みがあるということを、義務教育場面等で教えていく必要があると思います。

Q 若者の活躍推進に関して、ご意見がありましたらご記入ください

① 地域コミュニティ

- ・祝祭の広場活用
- ・窓口の広報
- ・16歳～29歳を対象ということですが、39歳まで位の方が良いのではないかと。私たちのところでは、「若長」という組織があり、祭りやいろいろな行事のお世話をしています。地域の中では非常に助かっています。
- ・若者の側面から物心両面より応援し、若者は行動及び企画のみを行う構造とする。
- ・段階的に、少しずつではあっても年齢を下げていく。早急に16歳～29歳では無理があるのでは？

② 学校等

- ・このプランをきっかけとし、学生を中心とした若い世代の人々が大分県・大分市に残って学びたい・働きたいと思ってくれるようになることを期待したい。
- ・大いに期待しています。
- ・県の就職率向上のため、「おおいた地域連携プラットフォーム」とも連携し、若者と企業の接点を増やすイベントを促進してほしい。

### ③ 事業者

- ・あり得ない話ではありますが、市議会の定数の内、1名は30歳未満、35歳未満などを作る。若いからこそ、人脈もお金もない。そういうのも1つかも。また、副市長や学校長の外部採用とまではいわないが、その道に長けている若者（30代・40代前半）を有識者として何かの組織に加える。肩書をもとに構成される会などに新しい風を。

### ④ 市民活動団体

- ・政治意識調査など
- ・若者が活躍することで、何がどう作用するのか？若者も私たち地域住民も自分事として考えにくいと感じる。若者の活躍には何が必要なのか？私は地域での経験に尽きると考える。学校以外の学びの場、地域での部活動のような場所が若者層の経験値を高め、繋がりを生むのではないだろうか。自己肯定感や自己有用感こそが、いずれは地域愛へと繋がると考えます。そのためには県や市の枠を超え多角的な支援が必要だと思います。
- ・多感な時期に感じたこと、体験したこと、経験したことなどが、将来の仕事や夢に繋がっていくと思います。若者たちが未来に希望を持てる、そんな大分市になったら嬉しいです。
- ・最近の生徒・学生とは括りたくはありませんが、コロナの影響もあり「みんなと同じでなければ不安」という方が多くいらっしゃるように感じます。大人も「みんなと同じであってほしい」と若者に求めてしまっているところもあるのではないかと感じています。若い方々が自分達で考え、思いを話せる、行動できる環境が整っていくことを願っています。また、そんな若い方々を受け入れることができる大人（私自身も含め）にもならなければならないと思っています。若者のための地域に根ざした活動が増えることを願っています。
- ・職場にいる20代や自分の周りにはいる20代は、日々の忙しさに追われ、「仕事終わりや休日は休みたいあるいは自分の時間を楽しみたい」「ボランティア活動や地域活動をする気力がない」「自己啓発活動（勤務先以外での学習）はありえない」など、意欲や要望がない人が多いように感じます。ですので、若者の活躍推進と言われても「意識が高い人だけが関係するもの」というイメージを持たれるのではと正直感じ、アンケート調査や若者会議、審議会などでどのような声が出るのか、そもそも意見や要望が出るのかがとても気になります。このプランについてどのように進められるかはわかりませんが、まずは取っ掛かりのハードルを低くし、気付いたら関わっていただくくらいになればと思います。
- ・もっと地域で、若者が参加し易いイベント等を行政や青年団？等で考える。
- ・税金を使う行政上仕方ないが、今までの実績や組織の有無を問われるので、若者や今から始める人にはハードルが高いと思います。
- ・私たちに対して、何の利益があるのかを聞きたい。  
大分のイベントはなかなか耳に入りにくいので、大分駅のラジオを使って宣伝してほしい。

## ⑤ その他

- ・上から目線にならないように若者活躍を考えて欲しいです。
- ・とにかく面倒臭さや固さを感じない取り組みである必要があると思います。また、こういうものはいわゆる学級委員長をするようなタイプの若者が目立ちがちで同じような意思の人が集まりがちだと思うので、様々な人が参加できると良いと思いました。
- ・枠にとらわれない、世界基準の自由な教育を。自分で考え、発信し、多様な個性を尊重できる教育を小学生から行うべきだと感じる。
- ・他県に比べて、動きが活発ではないと感じています。起業家コミュニティも限られているので、閉鎖的に少ないメンバーとの関わりになり、規模的にも大きくなりづらい印象をうけます。
- ・市外との交流は、県外や海外も含むことが大事だと考えます。県内での交流機会は、SNSでも可能な範囲となりますが、県外、国外となると不安な要素もありません。そこを行政としてやっていくことが大切だと考えます。
- ・創業支援等を含め大分みらいベース、コアワーキングスペース等、多数お取組みをして頂いているので、大変感謝申し上げますが、大学生や高校生へ支援に対しての広告宣伝を強化してほしいです。
- ・高校生に、各学校に出前授業等を実施して、大分市が取り組んでいる行事や計画について、意見を求めているかどうか。実行委員として参加してもらおうとか…。
- ・選挙意識アップに関して！米国では、州別に“v o t e d”と書かれたステッカーを用意し、投票した人が入手できるようになっており、選挙日にはSNSがそのステッカーであふれる現象があります。1 s tステップとして、投票することが良いこと（＝クールなこと）という認識を広めること、2 n dステップとして、投票したことを示すことができるステッカーなどを配布するなど工夫の余地があると思います。聴いた声について、どんなことを話し合いどう反映したのか、また、反映しなかった場合はどうしてそのようになったのかもフィードバックすることで、若者が、自分たちの意見がしっかり伝わっていることを感じ取ることができると思います。この一連の流れを発信することで、若者から意見を聴くことを当たり前にすることができればと思います。

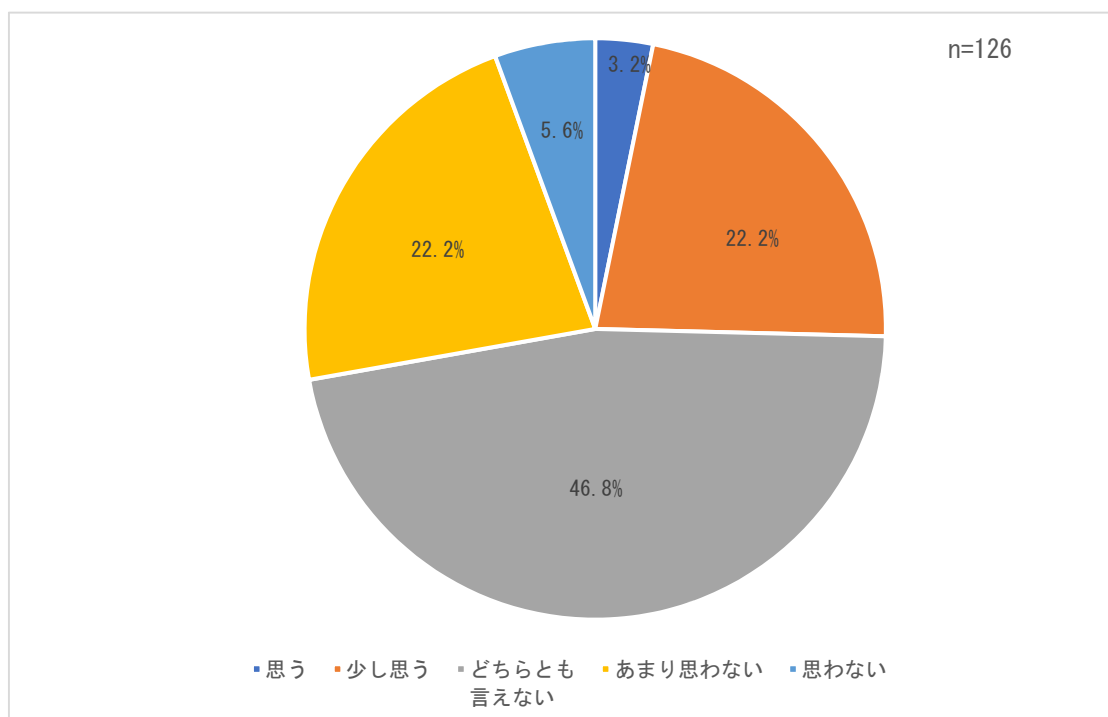
## 資料5 採用4年目職員アンケート

### 1. 実施の概要

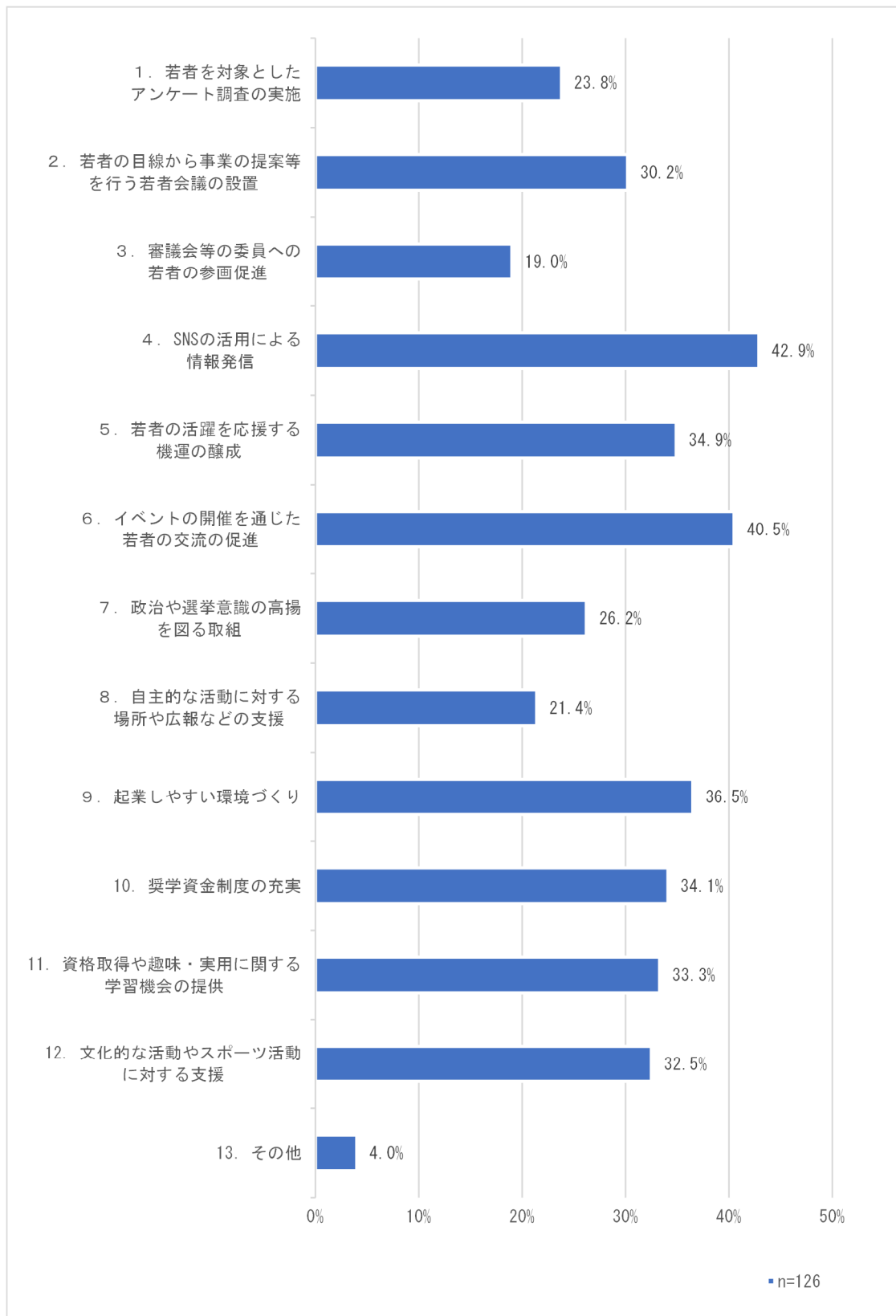
- (1) 調査の目的：大分市若者応援条例（令和4年大分市条例第52号）の目的である「若者の成長及び社会参画を促進し、もって若者の持つ活力が循環するまちの実現」に向け、若者をはじめとする関係者の意見を聴き、若者の活躍推進に関する施策を実施するための計画を策定する上での参考資料とするために実施するもの。
- (2) 調査期間：2023年（令和5年）10月26日（木）～11月10日（金）
- (3) 調査方法：無記名アンケート
- (4) 調査の対象：
  - ① 対象者 採用4年目の大分市職員
  - ② 回収人数 126人
- (5) 本アンケートの注意点
  - ① 構成比は、少数第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100%になりません。
  - ② 2つ以上の回答を求めた複数回答の設問の場合、その回答比率の合計は原則として100%を超えます。
  - ③ 図表中の「n」は、回答者数を示しています。

### 2. 結果の概要

#### Q 大分市は若者が活躍しやすいまちだと思いますか



Q 若者が活躍するために、大分市に期待することを教えてください  
(複数回答)



Q 「(仮称)大分市若者活躍推進プラン」について、ご意見がありましたらご記入ください

- ・大分市が主催するイベント等に、若者が主催者側としても参加できるような機会を増やす(農業のイベント、大分市の街を盛り上げるイベントなど…)。そうすることで、若者との交流、若者の提案や意見を反映させた新しいイベントを共同でつくることが実現すると感じます。
- ・自主性がある人が前提になっている。若者が少なくなっているため、自主的に活動したいと思っている若者が少なかった場合、施策としてうまくいくのか気になるところです。
- ・政治や選挙意識の高揚を図る取組：政治は、活動の内容、その活動が自分たちにどのように影響するかが分かりづらいため、その部分が分かるようにできると、興味を持ってもらえるのではないかと思います。  
審議会等の委員への若者の参画促進：大人数だと意見しづらいと思うので、少人数で、知り合いと参加できると意見が出やすくなると思う。
- ・【若者会議の設置】の中で、若者が街づくりに携われる場があると良い。若者が活躍する街を作るには、若者が住み続けたいと思う街でないと、プランの目標の達成にはつながらないと思う。
- ・プランがざっくりしているので、目玉政策を掲げてそれを前面に押し出すのが良いと思います。
- ・「若者の活躍」とは具体的にどのようなものですか？
- ・若者同士の交流の場を増やすイベントだったり、お金がなく大学等に通えない若者に向けての奨学金制度や支援をするとういと思う。
- ・概要のみを読んだ意見ですが、7. 目標指標の「若者が活躍しやすいまち」というのは、何と比較してどう判断したらよいのか、回答が難しいのではと思います。
- ・アンケート調査の時、身近なSNSでやるといいのではと思います。

Q 若者の活躍推進に関して、ご意見がありましたらご記入ください

- ・子育てへの支援を充実させてほしいです。
- ・若者が活躍するためには、若者自身が自身の興味や実現したい、目指したいことを抱けるような基盤が必要だと思います。それは若者の自己理解に通じる部分だと思うので、今の若者がもっと自己理解を深められるような活動や教育などが充実するとよいと感じました。
- ・高校や大学などに広報したほうが良いと思います。
- ・若者自体が少なくなっているため、進学、就職する際に県外へ流出してしまうことが問題だと思う。大分市に戻りたくなるような魅力ある民間企業を育てるということも大切だと思う。
- ・実際に行動に移せるようになるのは16歳ごろからだと思うが、コロナ禍で狭い視野になりがちだった小、中学生に実際に活躍している人々の姿を知らせたり見たりする機会をもつ、またさまざまな体験の機会を与えていくことで、長期的な大分市の若者の活躍推進に繋がるのではないかと思います。
- ・若者1人1人が「活躍したい」と思う分野が違うため、きっかけとなる場所を増やさなければ、大分市の取り組みを知ってもらうことができない。SNSを活用する母数は他の世代よりも多いと思うものの、様々な媒体・機会で発信をすることが必要。
- ・若者の意見集会などを行うといいと思います。
- ・そもそも大多数の若者が金も時間もギリギリで生活しているのをどうにかしないと活躍なんて段階に進めないのでは。
- ・魅力的な企業が増えると、若者が増えると思います。地元の魅力を感じないと、都市部に出ていくと思います。
- ・資格取得のための充実した補助制度や、民間と行政を行き来できるような制度改革をしてほしいです。
- ・若者の意見が通りやすい街づくりをしてほしいです。
- ・若者が活躍していることを上の世代にわかってもらう機会（広報などで）があると良いと思います。
- ・産業活性化プラザやオオイタミライベース等の施設で、資格やスキルアップについて学べる講座がもっとあるといいなと思います。SNSは身近で多くの情報を入手できる一方、情報が紛れて届かない可能性もあるため、SNSだけでなく、学年や年齢等に応じた情報をまとめたサイトがあるとよいのではと思います。



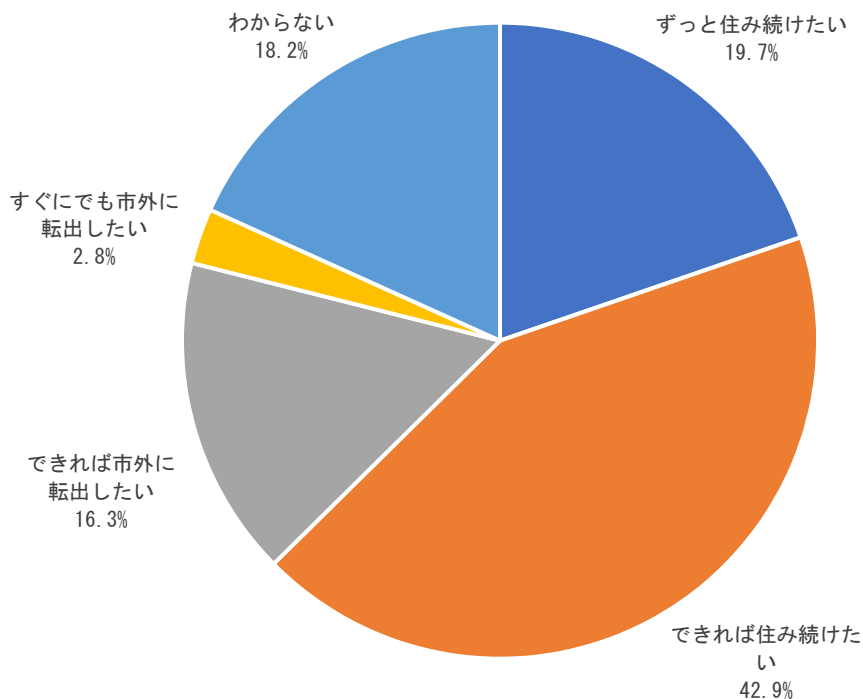
## 資料6 新たな総合計画等の策定に向けた若者アンケート

### 1. 実施の概要

- (1) 調査の目的：新たな総合計画及び（仮称）大分市若者活躍推進プランの策定にあたり、次代を担う若者の将来に対する意識などを把握し、その結果や意見を反映させるために実施するもの。
- (2) 調査期間：2023年（令和5年）10月27日（金）～11月12日（日）
- (3) 調査方法：インターネットによる無記名アンケート
- (4) 調査の対象：
  - ① 対象者 無作為抽出した市内在住の16歳～29歳 3,000人
  - ② 回収人数 674人
  - ③ 回収率 22.5%
- (5) 本アンケートの注意点
  - ① 構成比は、少数第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100%になりません。
  - ② 2つ以上の回答を求めた複数回答の設問の場合、その回答比率の合計は原則として100%を超えます。
  - ③ 「n」は、回答者数を示しています。

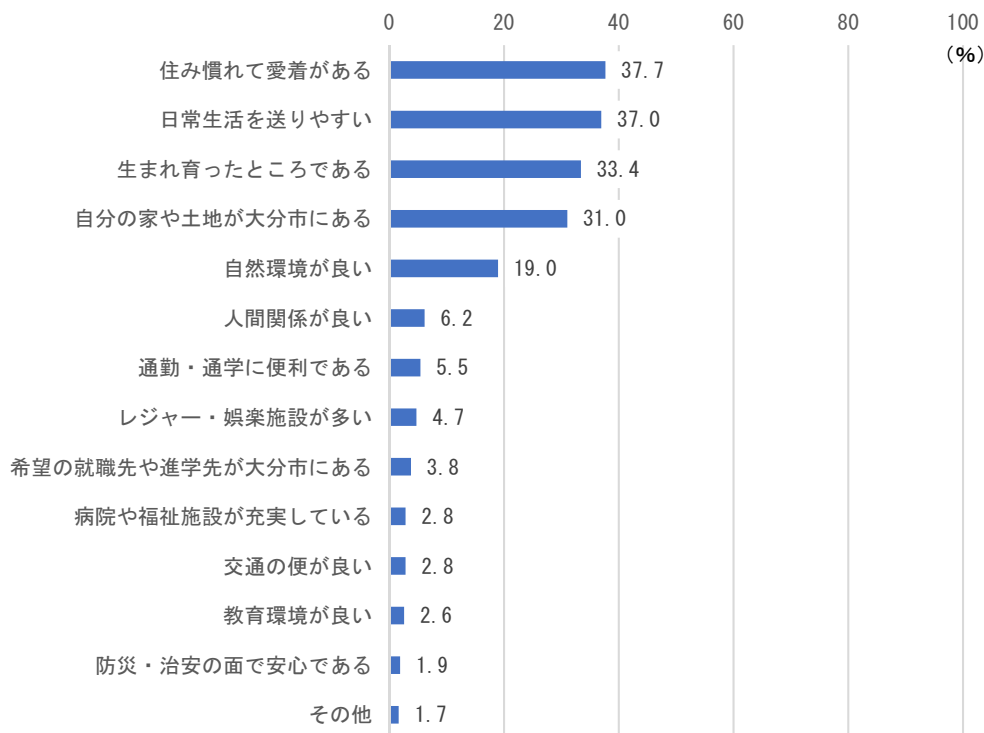
### 2. 結果の概要

Q あなたは、大分市にずっと住み続けたいですか（n=674）



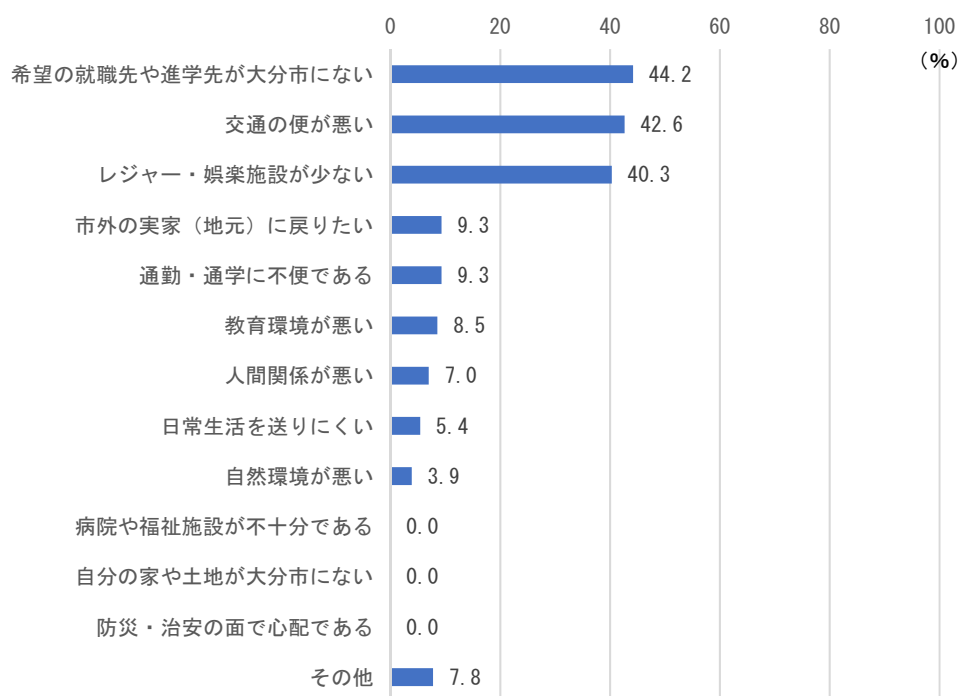
Q 大分市に住み続けたいと思われる理由は何ですか(2つまで回答)(n=422)

※「あなたは、大分市にずっと住み続けたいですか」の問いに対して「ずっと住み続けたい」又は「できれば住み続けたい」と回答した方のみ回答

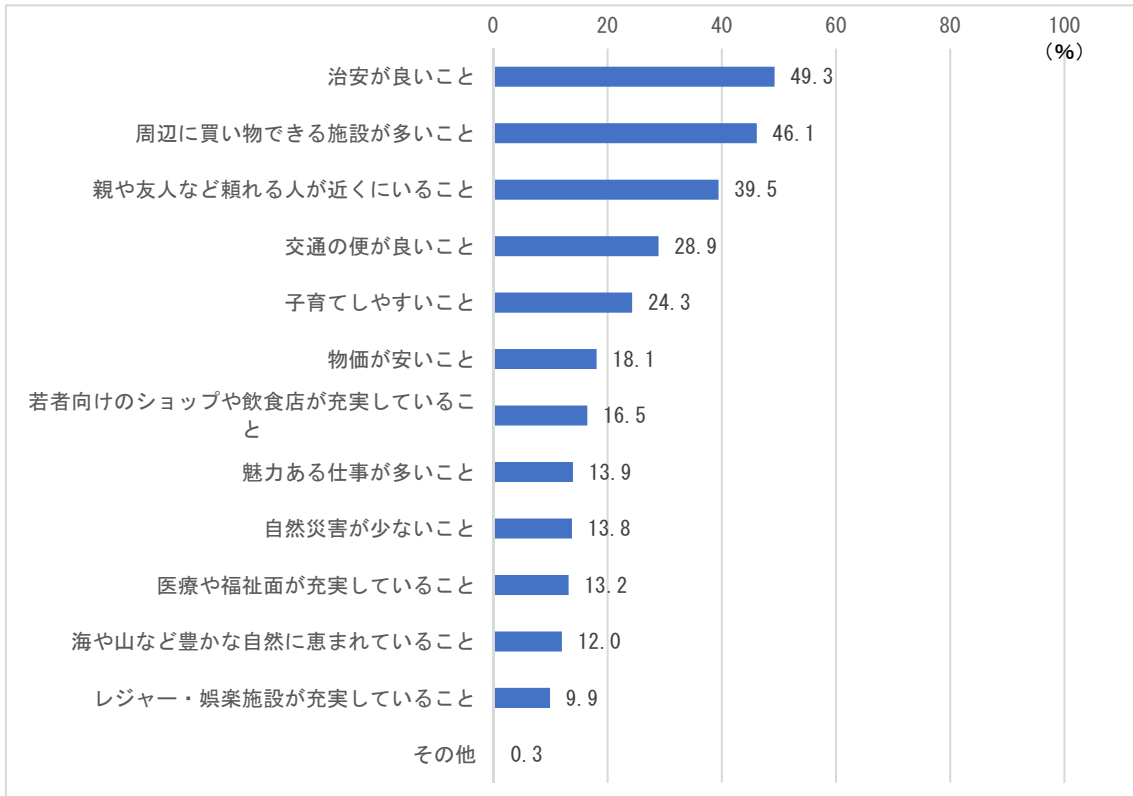


Q 大分市外に転出したいと思われる理由は何ですか(2つまで回答)(n=129)

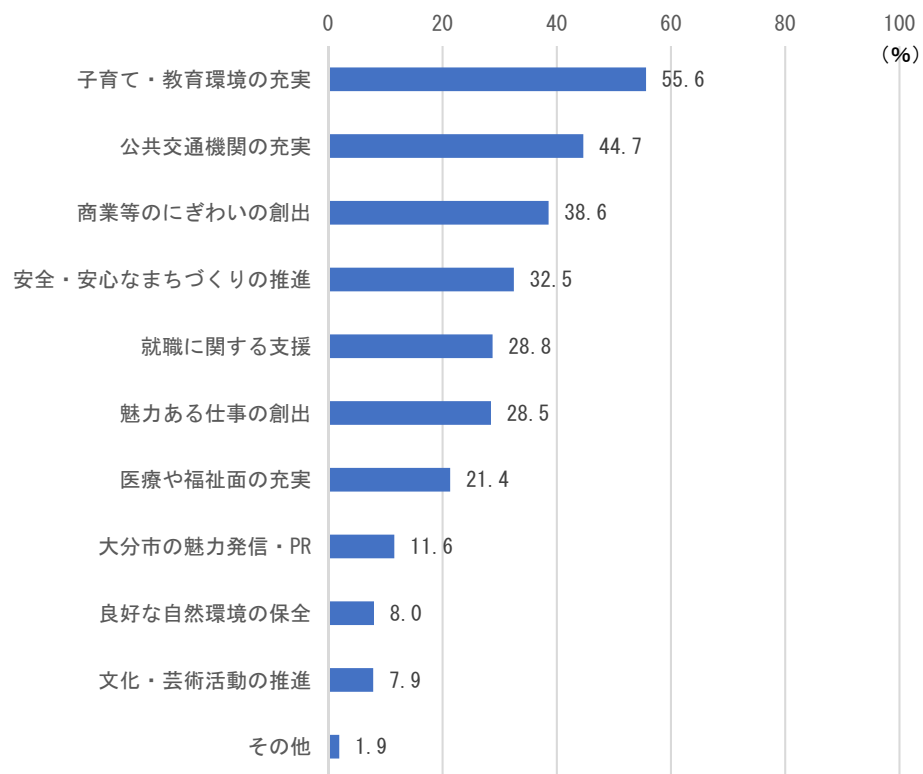
※「あなたは、大分市にずっと住み続けたいですか」の問いに対して「できれば市外に転出したい」又は「すぐにでも市外に転出したい」と回答した方のみ回答



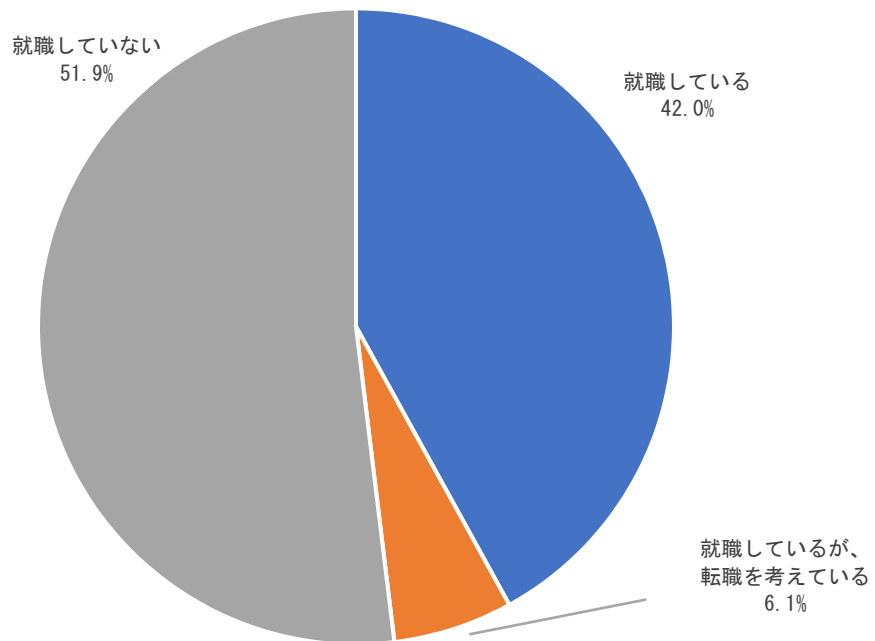
Q あなたが、住む場所を選ぶ際に重視することは何ですか（3 つまで回答）  
（n = 674）



Q 若者の大分市への定住を促進するために、大分市が力を入れるべきだと思うものは何ですか（3 つまで回答）（n = 674）

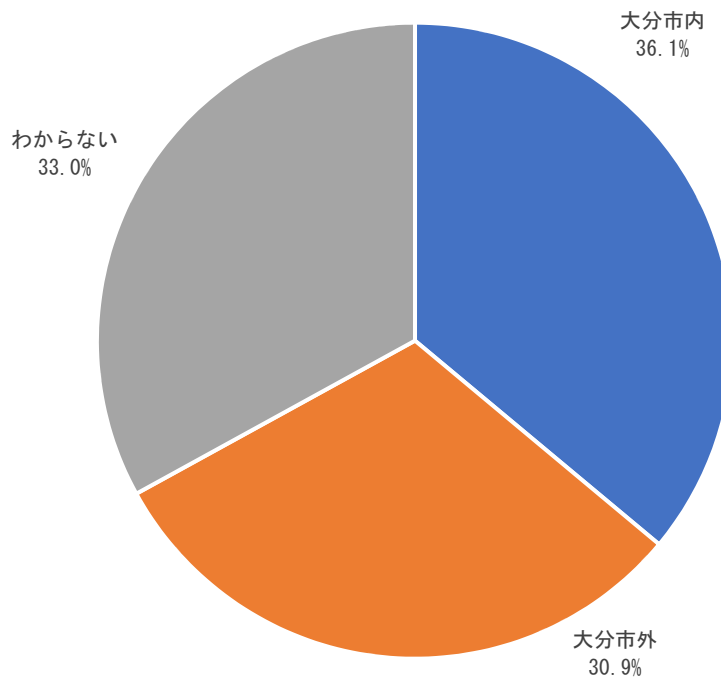


Q あなたは、現在就職していますか（n=674）



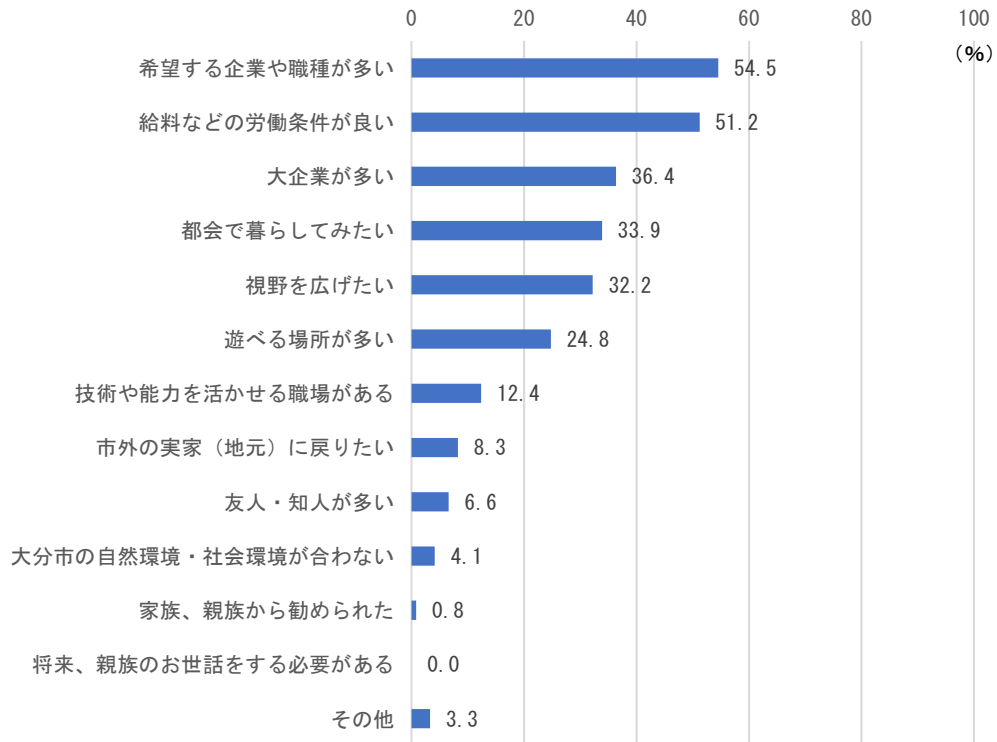
Q あなたが、就職したいと思う地域はどこですか（n=391）

※「あなたは、現在就職していますか」の問いに対して「就職しているが、転職を考えている」又は「就職していない」と回答した方のみ回答

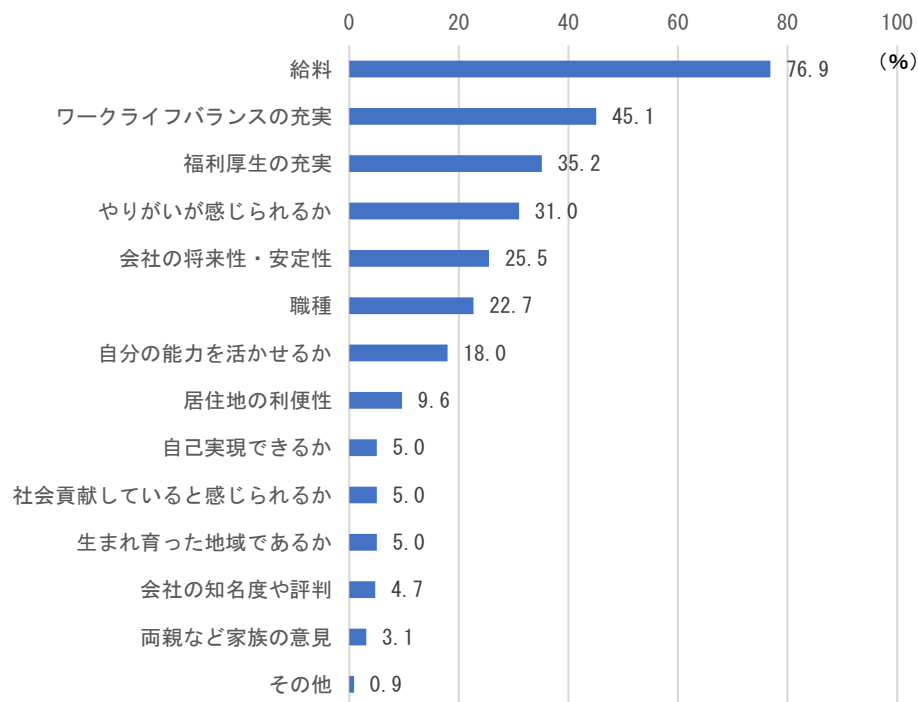


Q あなたが、大分市外に就職したいと思う理由は何ですか（3 つまで回答）  
（n =121）

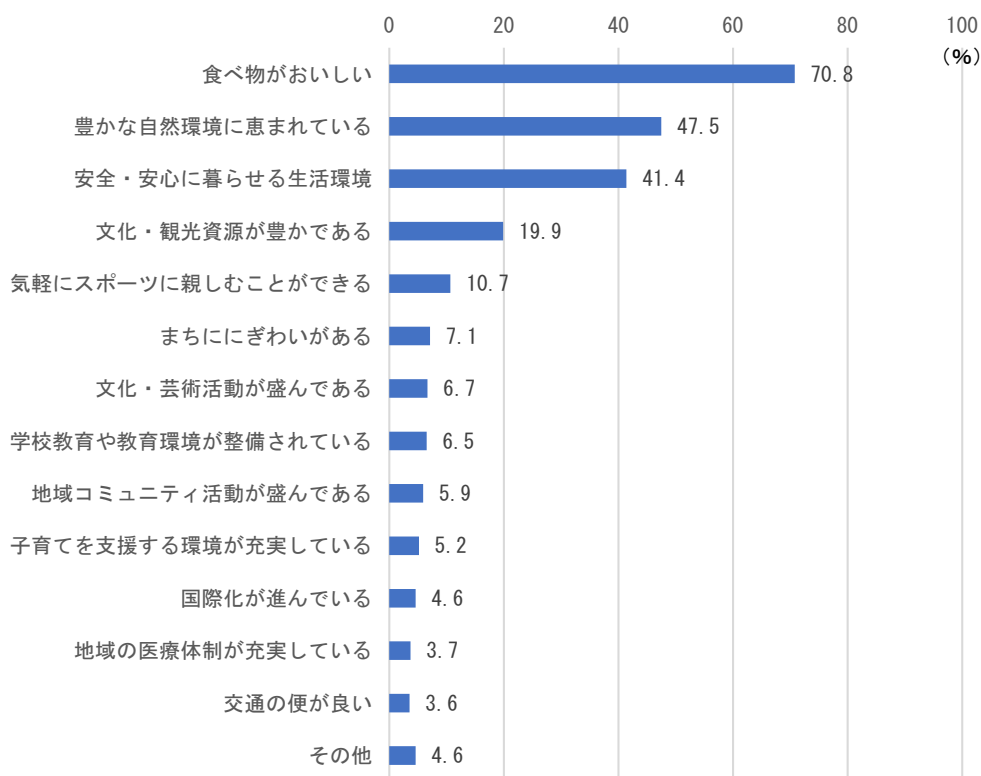
※「あなたが、就職したいと思う地域はどこですか」の問いに対して「大分市外」と回答した方のみ回答



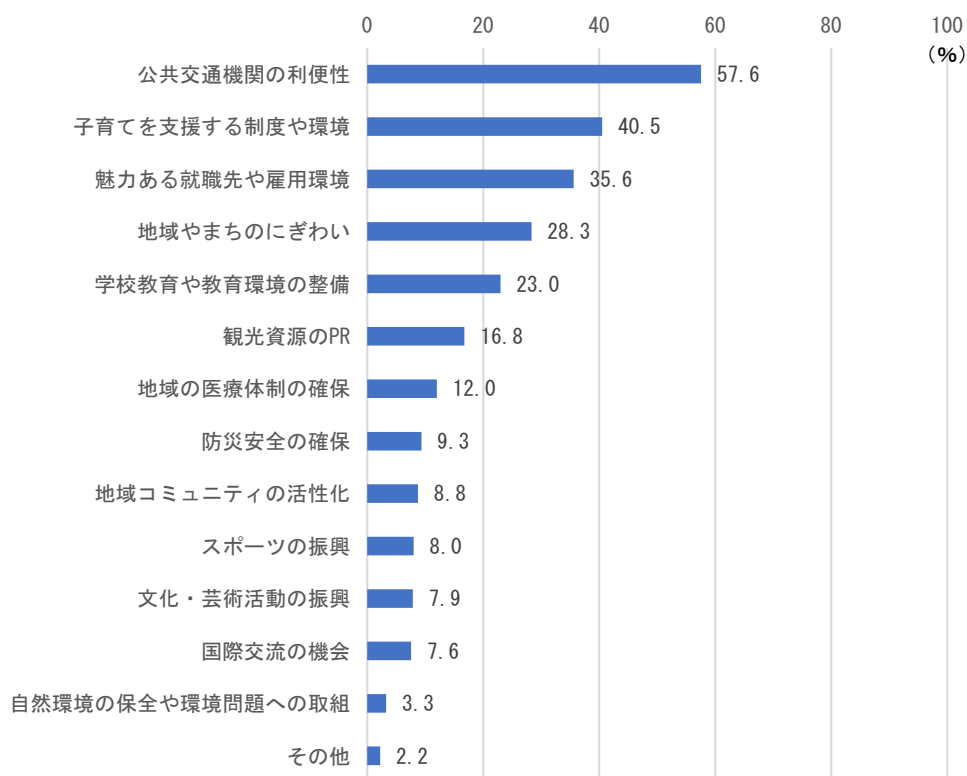
Q あなたが、職業や就職先を選ぶ際に重視すること（就職している方は、現在の職業を選んだ際に重視したこと）は何ですか（3 つまで回答）  
（n =674）



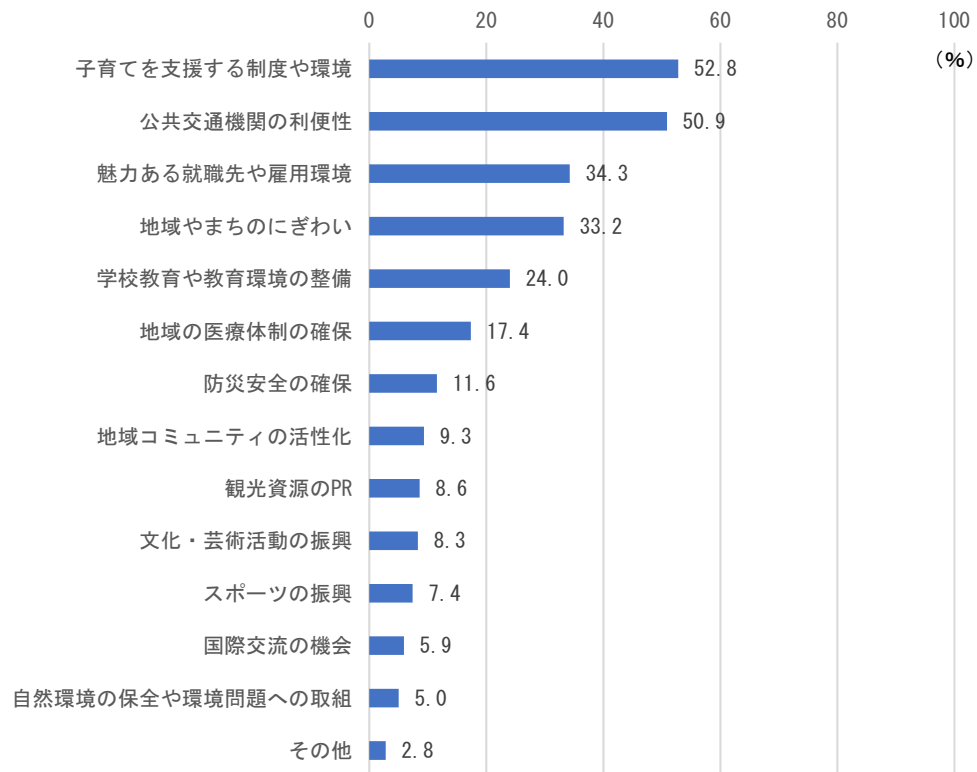
Q あなたが、友達などに自慢できる大分市の誇り、魅力は何ですか  
(3つまで回答) (n=674)



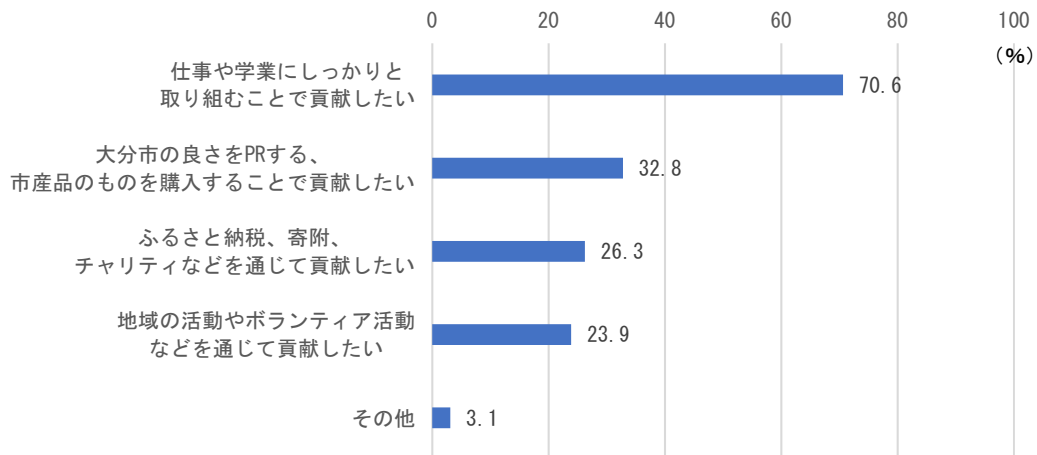
Q あなたにとって、現在の大分市に不足しているものは何ですか  
(3つまで回答) (n=674)



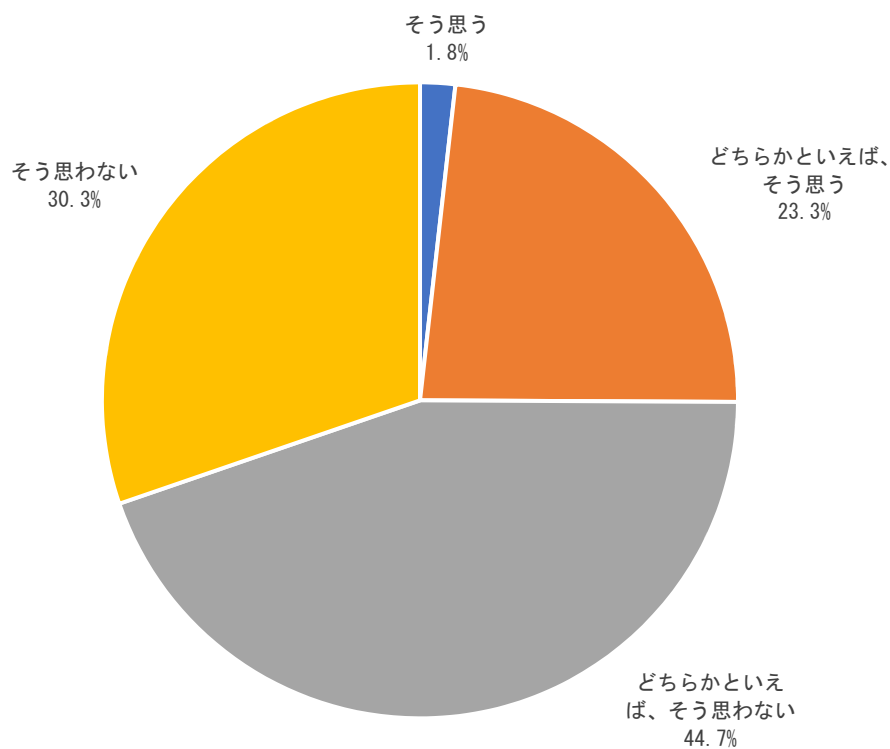
Q 10年後の大分市に期待することは何ですか（3つまで回答）（n=674）



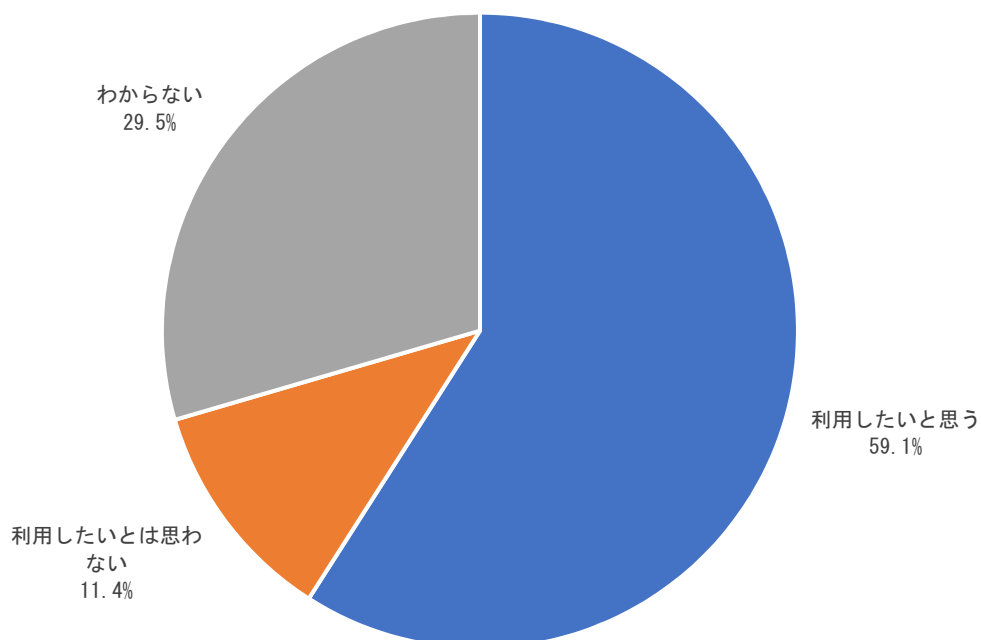
Q あなたは、未来の大分市を良くするためにどのような行動をしたいですか（2つまで回答）（n=674）



Q あなたは、市政に若者の意見が反映されていると思いますか（n=674）



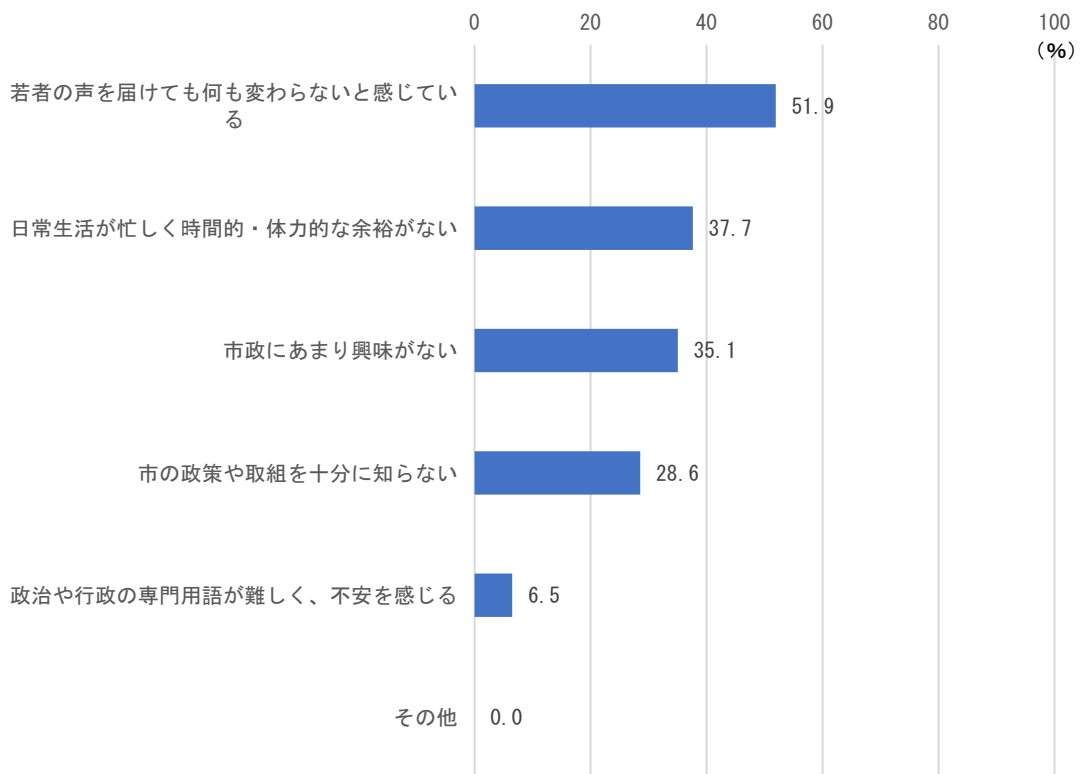
Q あなたは、大分市に若者の声を届ける場があれば利用したいと思いますか（n=674）



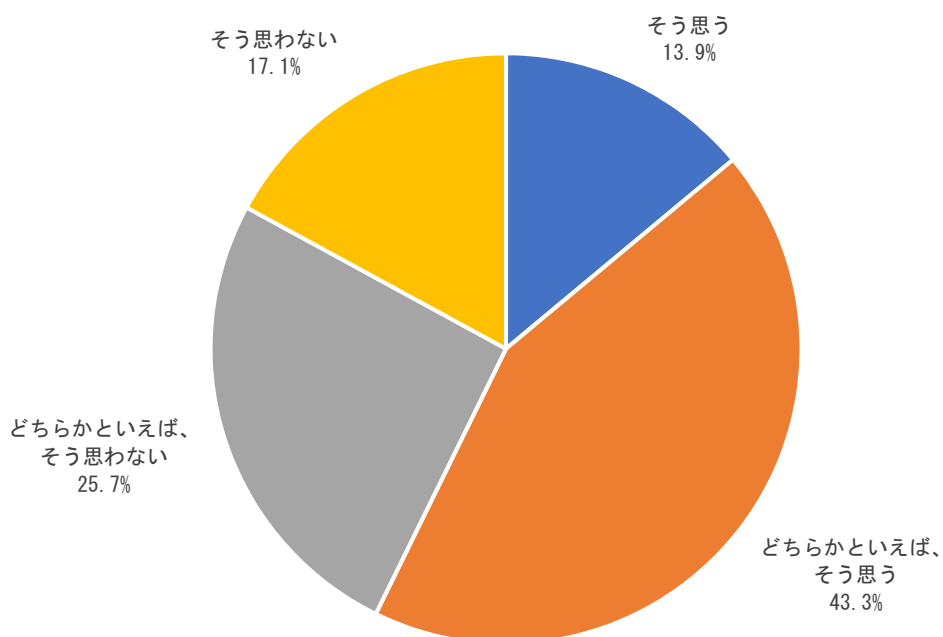


Q 利用したいと思わない理由は何ですか（2つまで回答）（n=77）

※「あなたは、大分市に若者の声を届ける場があれば利用したいと思いますか」の問いに対して「利用したいとは思わない」と回答した方のみ回答

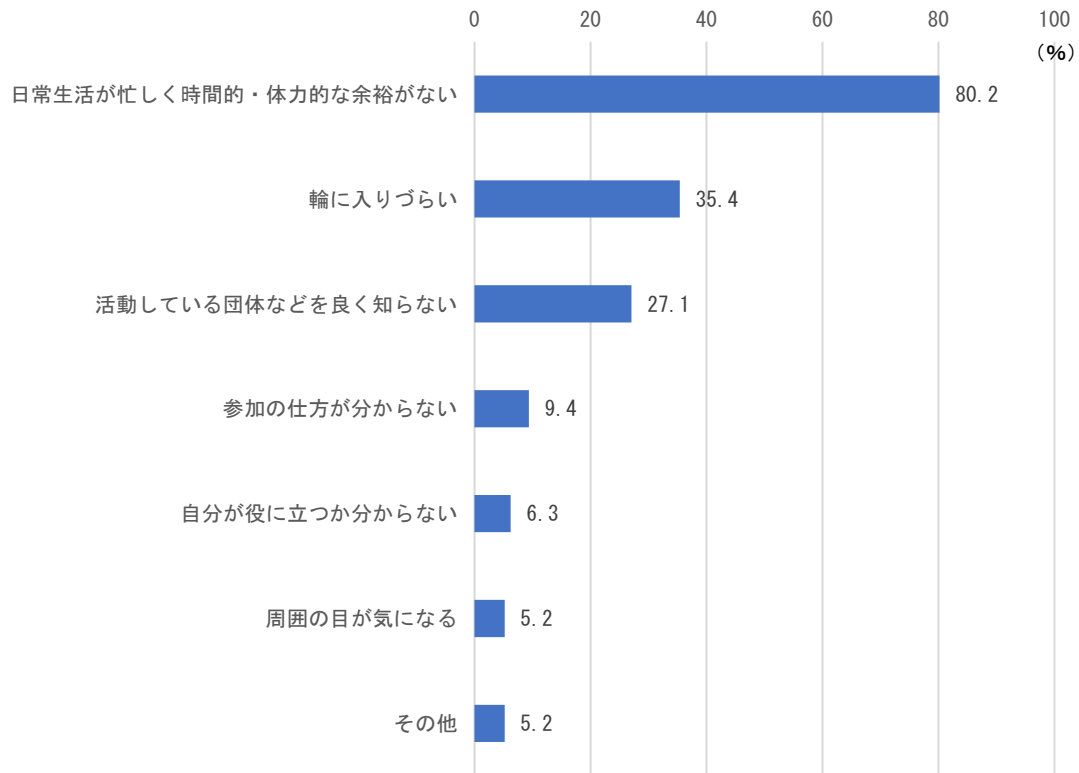


Q あなたは、自治会活動や地域の行事等の地域活動、ごみ拾い等の市民活動に参加したいと思いませんか（n=674）

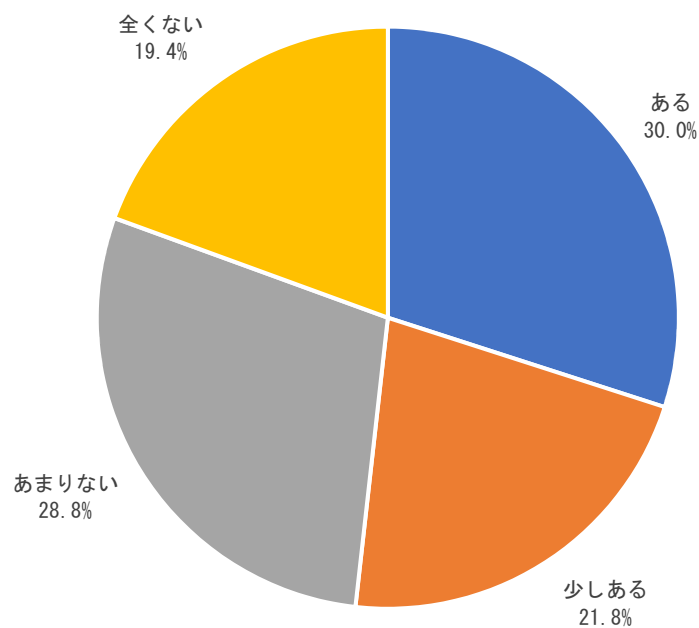


Q 参加したいと思わない理由は何ですか（2つまで回答）（n=288）

※「あなたは、自治会活動や地域の行事等の地域活動、ごみ拾い等の市民活動に参加したいと思いませんか」の問いに対して「どちらかといえば、そう思わない」又は「そう思わない」と回答した方のみ回答

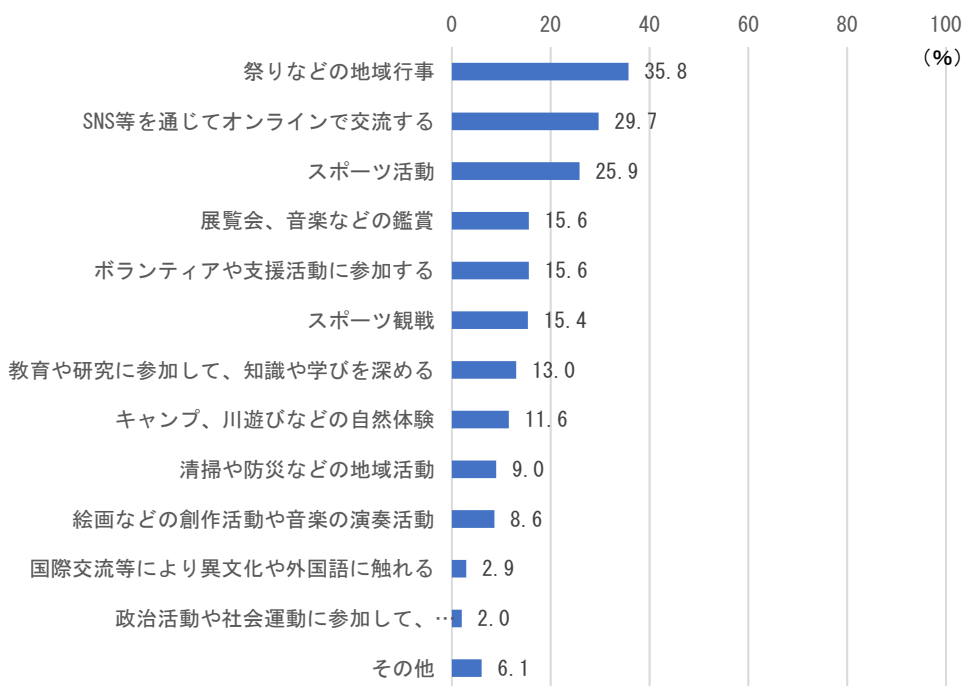


Q あなたは、学校や職場以外の人と交流する機会がありますか（n=674）

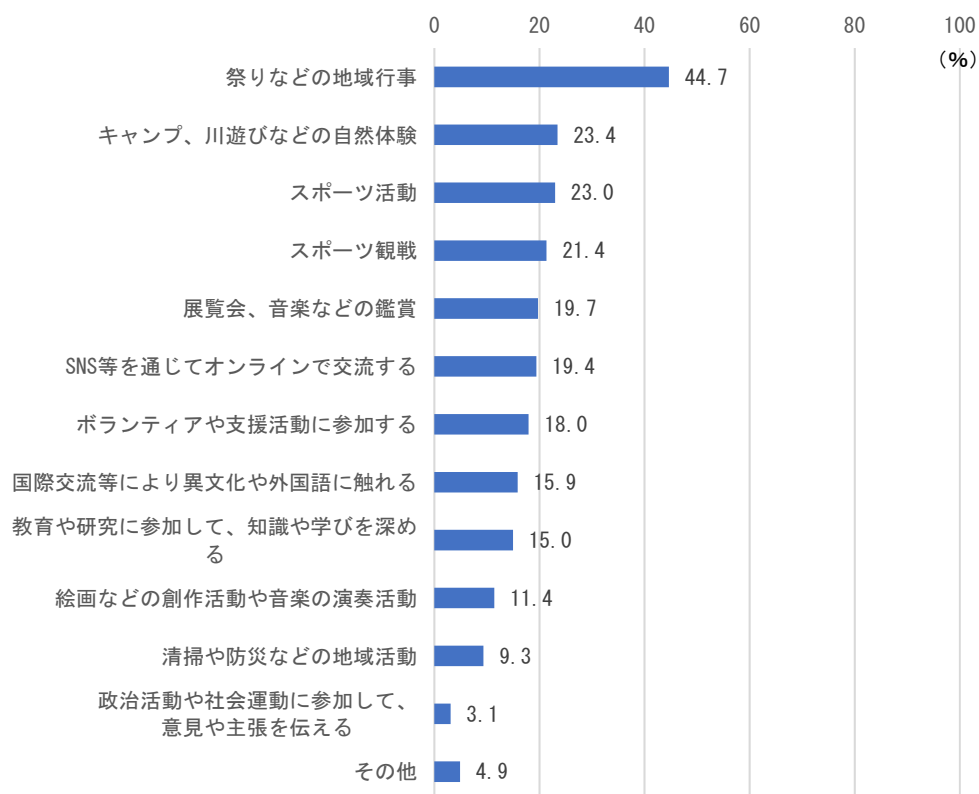


Q あなたは、ここ2～3年で、学校や職場以外の人とどうい交流をしましたか（3つまで回答）（n=545）

※「あなたは、学校や職場以外の人と交流する機会がありますか」の問いに対して「ある」、「少しある」又は「あまりない」と回答した方のみ回答



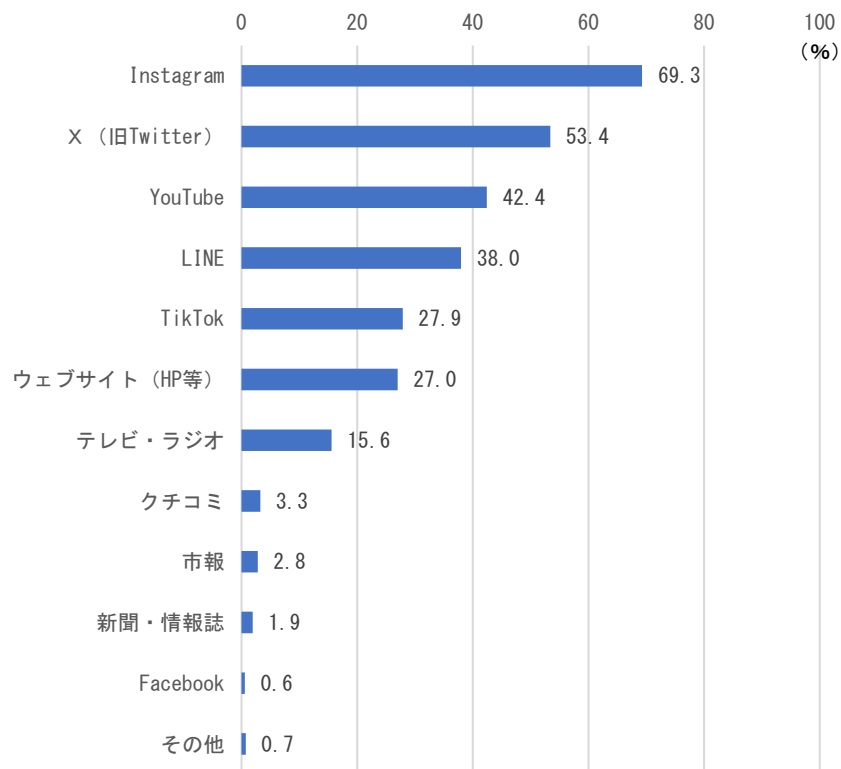
Q あなたは、学校や職場以外の人とどうい交流をしたいと思いませんか（3つまで回答）（n=674）



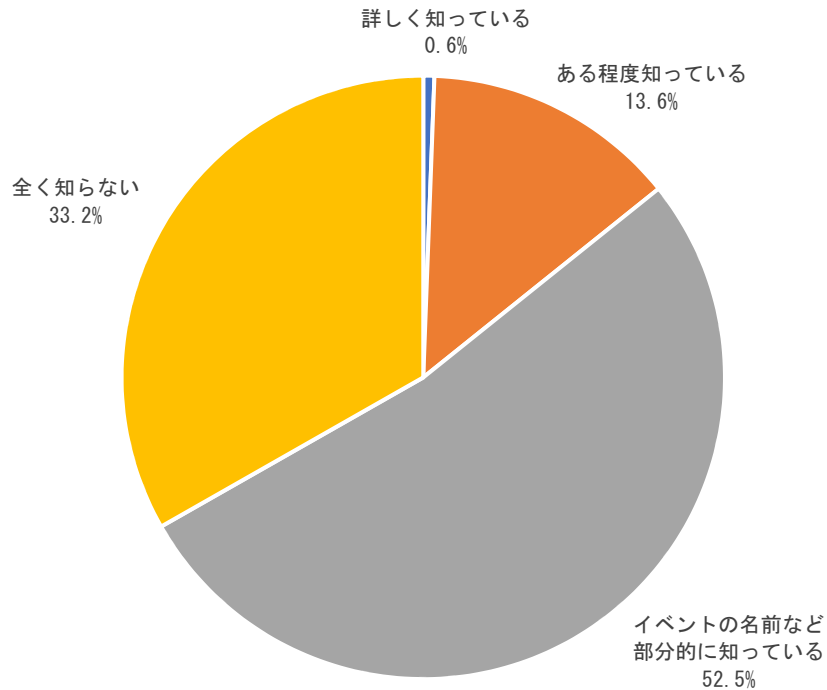
Q あなたは、こういった条件が揃えば、学校や職場以外の人と交流したいと思いますか（3つまで回答）（n=674）



Q あなたが、日常的に情報収集に使っている情報ツールを教えてください（3つまで回答）（n=674）

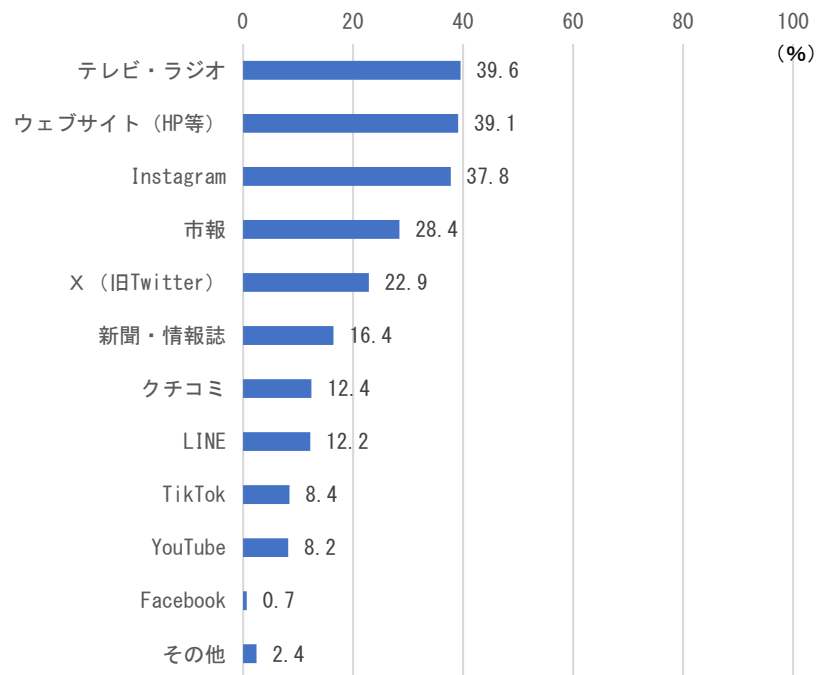


Q あなたは、市政情報や大分市が実施するイベントなどの情報をどの程度知っていますか（n=674）



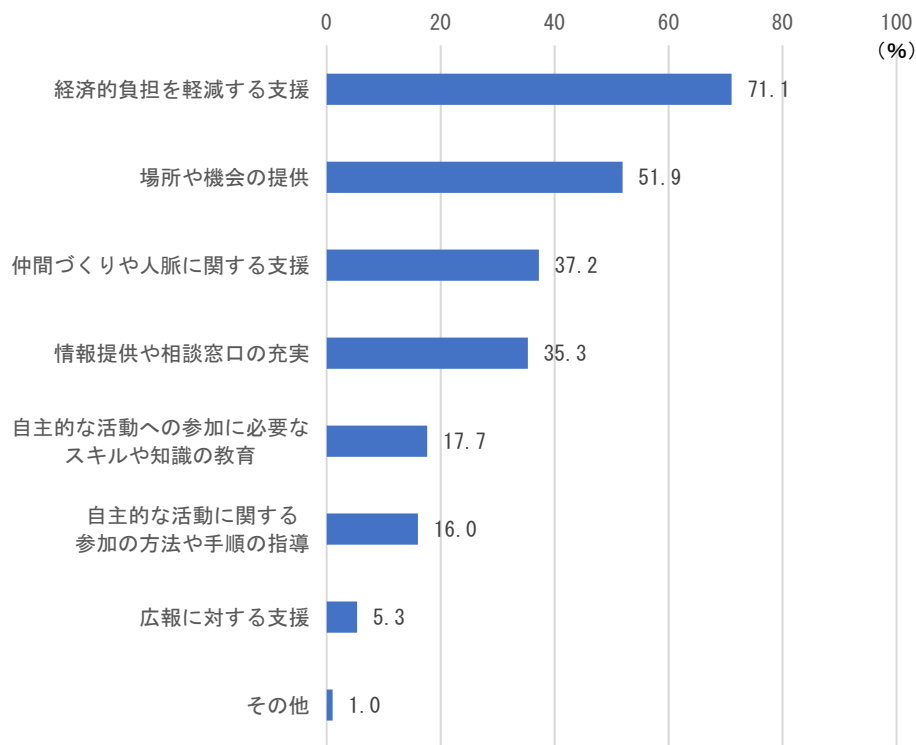
Q あなたは、市政情報や大分市が実施するイベントなどの情報をどの情報ツールを通じて入手していますか（3つまで回答）（n=450）

※「あなたは、市政情報や大分市が実施するイベントなどの情報をどの程度知っていますか」の問いに対して「詳しく知っている」、「ある程度知っている」又は「イベントの名前など部分的に知っている」と回答した方のみ回答

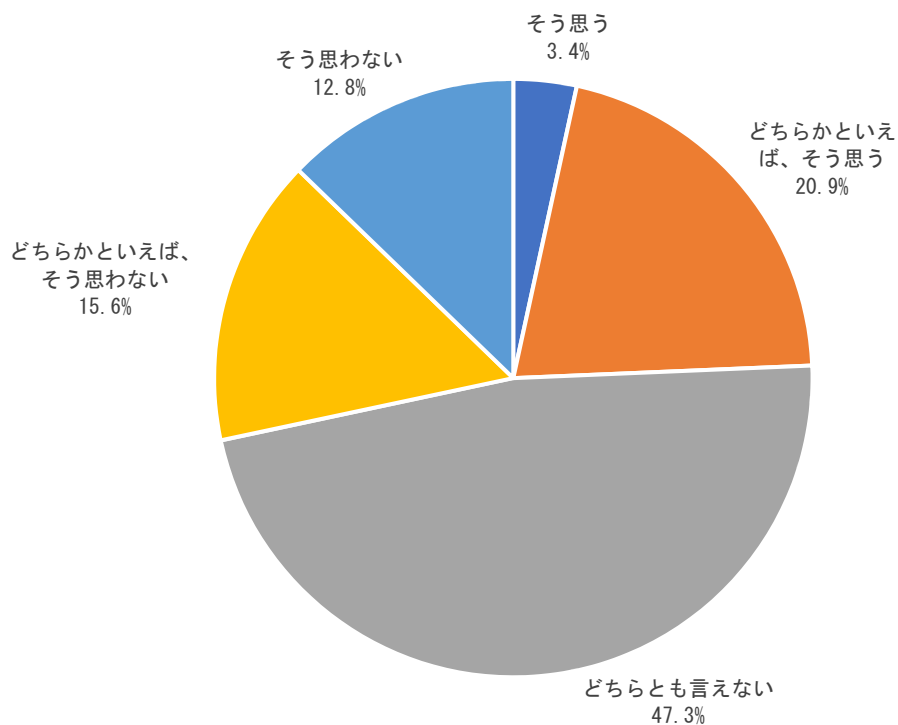


Q あなたは、自主的な活動（※）をしやすくするために、どのような支援やサービスが必要だと思いますか（3つまで回答）（n=674）

※文化的な活動やスポーツ活動、ボランティア、起業など、学校や職場以外の場面において自分の意志や判断で行う活動で、自己実現や社会貢献につながるものです



Q あなたは、大分市は若者が活躍しやすいまちだと思いますか（n=674）



Q 若者の活躍推進に対して、ご意見やご提案があればご自由にお書きください（抜粋）

#### ①交流関係

- ・ SNSでの活動やAPUの学生などと異文化交流の場を設けたりする。
- ・ 年配の方の良いところと若者の良いところを組み合わせると最強になると思うので違う世代との交流が大切だと思います。過去、現実、現在、未来を考えた思考ができると思います。
- ・ 若者同士が交流できる機会を提供してもらいたい。
- ・ 現代は人との繋がり薄いと思うので、何らかの形で幅広い世代と任意で交流できたら若者の意見を発信することにも繋がると思う。
- ・ 学校同士の生徒（学生）による交換留学による交流。
- ・ 学校間の交流などを増やした方がいいと思う。

#### ②情報発信関係

- ・ せっかく面白そうなイベントがあっても広報がいまひとつで知らなかったということが多く、SNS等を上手く活用して若者の大分離れが少なくなれば良いと思う。
- ・ 大分市の駅には高校が集中しており、勉学の場所として大分市民図書館（ホルトホール）がある。若者に地元への愛着を持ってもらい、少しでも若い人の流出を抑えるべきである。その為に、若者に将来的にも過ごしやすい場所であることをアピールし続けなければならない。その一環として、その具体例として、ホルトホールの積極的活用を提案したい。例えば、武雄市図書館のような既存の図書館とは全く違ったものへと変化したら若年層への大きなアピールになると考える。若者は積極的にお金を使用するため、中年になるまでに多くのお金を他県や他国ではなく、地元地域へ落とさせれば短期的には大きな出費になるが長期的には安定した投資資金の回収が可能だと考える。
- ・ 自治委員などを通じて参加者を募ったりしているが、そもそも若者まで声がかかっていない。LINEなどのツールも使いながら情報発信をしてもらいたい。
- ・ きっかけを作る意味でも、イメージキャラクターとして有名人の方を起用し、発信することが最適だと考えます。そして、情報発信に関しては、若者に訴える場合、おしゃれ、カジュアル、見やすさ(文字を並べるのではなくシンプルに)を重視して、SNSによる発信が大切だと思います。
- ・ 大分市のことや国全体のことなど、難しいことばかりでわからないし、難しいと思って知ろうとも思わないのが正直な感想です。もっとわかりやすく簡潔に知れる情報があればいいなと思った。
- ・ 大分の政治について知らないことが多いため、T i k T o kなどでどのような政治をしているかを分かりやすくそしてあまり堅苦しくならないようにPRなどして欲しいです。
- ・ 若者や市の活動情報が分かりやすくキャッチできると良いと思います。

### ③意見聴取関係

- ・若者の声が届きやすい、選挙などとは別のものを設けるべき。我々中高大生や生徒（学生）の声など取り入れるべき。市の政策は、我々生徒や学生向けではなく、親世代向けに多い印象がある。直でメリットを感じる事が少ない。それによって市への関心がなく興味がない。僕もそうですし、若者もそう。大分市の予算も少ないのは承知の上だが、是非ともしてほしい。
- ・若者同士で話を持ち合い、意見を交わす場があると今よりもっと地域の問題に対して意欲的に考える機会が出来ると思う。
- ・出向くのではなくネットから意見を伝えたりできるようにしてほしい。
- ・定期的に市長や市議会議員との議論の場を提供して頂きたい。このアンケートのように無作為に抽出した若者がそれぞれの意見を持って自由に議論ができれば彼らにも若者へ意識が行き、政策に反映されると考えるからである。
- ・議員の方々などに意見できるような場やネット環境を作ってもらい、それを反映させてほしい。
- ・意見交換や意見公募の方法を、オープンチャットにしてみるのはいかがでしょうか。ルールの徹底が必要になりますが、手軽さは抜群だと思います。個人的に役所の手続きは面倒な印象があるので、その印象が変われば若者主体の活動数も意見の提供数や頻度も変わってくるのではないのでしょうか。
- ・高齢化が進む中で若者が活躍できる政策を行うには、第一に若者の選挙の参加を促す必要があると考える。若者の情報源としてはSNSが主である為、SNSでの市政の情報発信や、オンラインでの投票等の整備ができれば、若者の投票率の向上に繋がり、若者の活躍推進の為の公約が実現できるのではないかと考える。
- ・このような意見の調査があってもなかなか取り入れて頂けないことが多くあるように感じるのでこの調査の結果などをSNSや新聞などで取り上げることで若者の意見は理解されやすくなると思います。
- ・若い人たちの声を反映させる場所をたくさん作ることで何十年後の大分市民全体の主体性が芽生えてくると思います。
- ・今回のアンケート対象くらいの人達が考える政策を、上が否定せず実行してください。現状、政策や街の構造が若者に寄り添っていません。
- ・若者の意見より高齢者、権力者の意見が優先されている。柔軟に考えを取り入れてほしい。
- ・このようなアンケートで若者の意見を聞こうとしてくれるのがいいと思った。
- ・若者の声を適切な相手に届ける仲介者・窓口があると嬉しい。
- ・目安箱のようなものがスマホから送信できる環境があると、若者も意見を言いやすいのかなと思う。
- ・フワッと生活しているなかで、良かったと思うところ、足りないと思ったところを見つめ直す良い機会でした。このような機会を設けていただきありがとうございました。
- ・このようなアンケートのように、意見が言える場を設けていただけると、活躍とまでは行かなくても意見が伝わりやすいと思った。
- ・もっと若者の意見が尊重されるような場をつくって頂きたい。



#### ④チャレンジ関係

- ・金銭的支援やリーダー育成。
- ・学費を支援してほしい。
- ・学校で大分の政治についての授業を受けてみたい。(どんな活動をしているか、目標等)
- ・初心者限定(始めて数年以内)の楽器やスポーツイベントがあるといいかも。反対に玄人向けのイベントも用意するの。
- ・若者が活躍するための講座。
- ・地域の取り組みに参加したらお金を出した方がいい。
- ・もっと活躍していきたいなって私自身も思っているのですがどうしたらいいかわからないので行動出来ずにいます。私みたいな若者が他にもいると思うので、なにか出来たらなとずっと思っていました。
- ・奨学金、就職支援などの、若者に対する第一歩の支援は充実を突き詰めもいいと思う。
- ・一部の人だけでなく全体として色んな人が色んな場面で活躍出来る場を取り入れると良い。
- ・金銭的免除・補助を拡充。
- ・大分市は地元ではなく、職場も県内他地域なのでより感じるが地域の繋がりがとても薄い気がする。また、その地域の中で若者が活躍している場面を見たことがない。私が住んでいる地域は若者が多くいるが皆興味がないようにも感じられる。田舎に行けば行くほど若者が担っている役割が大きく、地域貢献や、職場でも若手PTを積極的に行い若者が主体となって動いている場面をよく見るので、大分市もそのようになれば良い街になると思う。
- ・起業等の補助金は全額補助だともっと若者が活発に活動できます。
- ・大手企業はあるのに、スポンサー活動が少なく、淋しいです。
- ・一般の人が簡単に借りてイベントなどを行えるような施設がもっとあれば活性化するのではないかと思います。またそんなところがあることを多くの人に知ってもらうための告知等を行う。
- ・小学校の教員を目指して、現在大学で勉強を頑張っている最中である。実際の、教育現場では仕事量がとても多く教員の方々がとても大変だという情報を耳にする。少しでもお力になれるように、教員を目指している学生が実際に教育現場に伺って、先生方のお手伝いができるような環境を増やしてほしい。
- ・私はデータサイエンスを大学で学んでいるのですが、そういった新しい職種はやはり都心に多い気がします。そのような新しい職種が大分にもあれば大分で就職したいと考えているため、そのような就職先が増えて欲しいです。
- ・地元に戻りたいけれど、働きたい職がないという話は友人(大学生)とよくします。帰りたい気持ちがある人を逃していてもったいないと思います。
- ・転職関係の支援やイベントがあるといい。
- ・都会にあるような職業はなく近年働き場所が少なくなっている気がします。また、短時間でしか雇わないということも増え、環境的にも厳しいです。もっと若者が活躍出来るような企業や未経験からでも出来る環境を整えていただきたいです。

⑤その他（複数のカテゴリーに該当する内容を含む）

- ・年配の方が温かく受け入れてくれるような環境が、若者の積極的な行動に繋がり、活躍できる場が増えると思います。
- ・妊活に関する支援拡充。
- ・結婚時の支援が隣の臼杵市はあるが大分市はない。  
会社が県南ということもあり臼杵市にいつか住んでもいいと感じている。  
住んでいる市町村によって支援が違うのはどうなのかと感じている。
- ・もっと他県の若者に魅力を感じて貰えるような施設をアピールしていくことが大切だと思います。例えば日出町にあるハーモニーランドですが、近年サンリオは大変若者の中で流行っており、そんなサンリオのテーマパークが数少ない中大分にあるのはとても大きなPRになると私は考えます。大分県にはテーマパークなどの観光客が集まるような場所は決して少なくはないと思うのでぜひこういった場所をより活用できると街の活性化に繋がると感じました！！
- ・花火大会や府内戦紙などのイベント参加できる機会を増やしてほしい。
- ・楽しめる施設があれば若者が来るのかな？と思います。
- ・魅力のある大学にしてほしい。
- ・個人で必要な教育をするべき。
- ・県外に行かないと魅力的な学校がない問題がある。特にデジタル・グラフィック・アートデザイン・イラストなどの分野。在宅でも仕事ができる業種の学校が県外にしかないと、県外に進学→県外就職のルートができてしまう。県内で活動できるための道作りが必要。
- ・全ての学生が楽しく学校に行けるようになって欲しい。
- ・モチベーションを上げて働ける環境と、仕事以外の場でも生き生きと過ごせることが大事だと思います。
- ・新卒や若者の中途採用に対する給料が低すぎる。この給料では休みの日にかしたいと思える人は少ない。
- ・今の時代、共働きが多いと思うのですが、子供が小さいと、転職先が見つからない。働きたいのに子供への理解がない会社が多く働けない。もっと、子供優先で理解のある会社をチラシやHPなどでもっと発信して女性が働きやすい環境にしてほしい。
- ・働き続けるためには子育て支援が重要なので保育施設等の充実をお願いしたい。
- ・子育て中だと制限される事が多く、やりたくてもできない事が多いです。保育園、幼稚園の増員、預かり保育の拡大や補助をしていただきたいです。働く若者世代が子どもを育てやすい環境を作ってほしい。市町村民税非課税世帯対象でなく、全対象とした保育料無償化など。
- ・公共交通機関の改善をして下さい。
- ・ゆったり暮らすには向いているが、若年層が大分で活躍できる場や機会は限り無く少ないと感じる。
- ・学費の低下、美術教育の活性化
- ・高校生も病院のお金をタダにして欲しいです。

- ・ 正社員で頑張っても給料が少なく、結婚なんて考えられない。そういう人が多ければ少子化も進む。疲れて帰って自分のことで精一杯。時間も金銭面でも余裕がなく結婚して子供を作ろうなんて全く思えない。若者がもっと働きやすい職場が増えて欲しい。大分はまだ古い考え方の職場が多いと思う。フレックスタイム制やリモートワークを導入して、私生活を充実させて余裕を持ちたい。高校や大学生の時にもっと就職について教えて欲しかった。どんな仕事があって、それに就く為にはこういう勉強をしたほうがいいのか等、早くから知っていればもっと可能性が広がっていたと思う。大人になって、いろんな仕事を知って、こんなことやりたかったなと思うことがある。挑戦するのに何歳からでも遅くないと言いますが、今の状況でわざわざ苦労しようと思わない。せめて今の学生さんたちにはこういう思いをしてほしくないなと思います。大分には魅力的な企業も少ない。もっとたくさんの職種から仕事を選べるようになればいいなと思う。
- ・ アーティストを呼べるような街にして欲しいし、娯楽も少なく特別な少子化対策もないし今の大分に若者の新規の定住なんて無理だと思う。少子化対策をしたいなら20代30代のこれから子どもを産み育てる世代の支援をして欲しい。日々生きていくだけで精一杯なのに子どもを産み育てる余裕なんてない。
- ・ 学費の減額、美術芸教育の活性化。
- ・ 高校生も病院のお金をタダにして欲しいです。
- ・ とにかく、出産後の女性が働きにくいと思う。復帰するにも保育園がない。色々活躍したいが、職探しと保活に苦労する街。認可外保育園も認可と同じように、無償化を考えてほしい。また転入してきた場合にはなにかしらのプラス面が欲しかった。(温泉県なので温泉無料券とかあれば嬉しい…)
- ・ 大分市の若者に対する取り組みはあまり知らないのですが、若者を呼び寄せるには、働きやすい環境を作るべきだと思います。給料が多ければまず大分市やそこにある企業に興味を持ってもらえ、そこから福利厚生や企業の仕事内容なども見て就職の検討範囲に入ると思います。そのため大分市全体で給料を高め設定すれば良いと思います。また、若者に意見を定期的に聞いたり、意見を聞くだけでなく、若者が中心となる活動があればいいなと思います。経験値が足りないから仕方ないかもしれませんが、今の時代、方針を考えたり企画したりする重役などは大人の男性が多いですが、年齢や性別に関係なく色々な人を取り入れるべきだと思います。女性や若者にアンケートをとるだけでなく、実際のその場に入れるべきだと思います。また、留学支援をしてもらえたら学生としてはとても嬉しいです。長期留学だけでなく短期留学や目的のある海外旅行など海外に行くことを金銭的に補助してもらえれば、グローバル化が進み、異文化理解が重要になるこれからも活躍できる若者が増えると思います。
- ・ 教育面や就職面の充実が必要だと思う。
- ・ 大分を更に良い街にするため、自分自身もできることがないか考えながら生活していきたいと思う。今後とも大分市のためによろしくお願いします。

## 資料7 大分市若者応援条例（令和4年大分市条例第52号）

現在、全国的に少子高齢化が進んでいます。同時に、大分市では進学や就職を機に市外に出ていく若者も多くなっています。社会の担い手が減ることで、まちの活力の低下が危惧され、未来を担う若者が地域の活動に限らず社会の様々な場面に参画することがより一層求められています。

こうした中、若者が夢や希望を持って生き生きと活躍するためには、若者の意見を反映する仕組みや、若者の活動に対する支援などを充実させ、若者の持つ能力や行動力を十分に発揮できる環境を整備することが必要となっています。

また、地域の活動やまちづくりへの参加を通して多様な経験を積むことは、若者自身の成長につながり、その成長を若者自身が実感することで、活動の企画段階などへの参加や社会の様々な場面での活躍が期待されます。

このような認識のもと、若者の取組を周りの人々が応援し、若者もまた地域や社会の取組に協力することで、若者が持つ活力の循環を社会に生み出すとともに、新たな世代にもその活力が循環するまちを実現するため、この条例を制定します。

（目的）

第1条 この条例は、若者の活躍推進に関する基本理念を定め、若者、市民、地域コミュニティ、学校等、事業者及び市民活動団体の役割並びに市の責務を明らかにするとともに、若者の活躍推進に関する基本的事項を定めることにより、若者の成長及び社会参画を促進し、もって若者の持つ活力が循環するまちの実現を図ることを目的とする。

（定義）

第2条 この条例において、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。

- (1) 市民 市内に住所を有する者及び市内に通勤し、又は通学する者をいう。
- (2) 若者 おおむね16歳から29歳までの者をいう。
- (3) 地域コミュニティ 自治会等の地域を基盤に形成された集合体をいう。
- (4) 学校等 高等学校、大学、高等専門学校及び専修学校をいう。
- (5) 事業者 市内において事業活動を行う個人又は法人をいう。
- (6) 市民活動団体 市内において若者の社会参画に関係する団体をいう。

（基本理念）

第3条 若者の活躍推進は、次に掲げる事項を基本理念として行うものとする。

- (1) 若者が社会の担い手の一員であることを認識し、社会で活躍できるよう、社会的機運を醸成すること。
- (2) 若者の意見及び自主性を尊重しつつ、その自主的な活動に対して必要な支援を行うこと。
- (3) 若者、市民、地域コミュニティ、学校等、事業者、市民活動団体及び市が、それぞれの役割又は責務を認識し、相互に連携を図りながら協働して取り組むこと。

（若者の役割）

第4条 若者は、自らの活躍推進に関し、次に掲げる役割を果たすよう努めるものとする。

- (1) 自らが暮らす地域に関心を深めるとともに、地域コミュニティ、市民活動団体等が取り組む活動及び市が実施する施策に積極的に参加し、又は協力すること。
- (2) 社会の様々な場面において活躍の場があることを認識し、自主的な活動に取り組み、その持てる能力及び行動力を発揮すること。

(市民の役割)

第5条 市民は、若者の活躍推進に関し、次に掲げる役割を果たすよう努めるものとする。

- (1) 若者に対して社会参画に関する必要な情報の提供、助言その他の支援を行うこと。
- (2) 市が実施する施策をはじめ、若者の活躍推進のための取組に協力すること。

(地域コミュニティの役割)

第6条 地域コミュニティは、若者の活躍推進に関し、次に掲げる役割を果たすよう努めるものとする。

- (1) 若者が参加しやすい活動を実施し、及び当該活動への若者の参加を促すとともに、地域に関する必要な情報の提供、助言その他の支援を行うこと。
- (2) 市が実施する施策をはじめ、若者の活躍推進のための取組に協力すること。

(学校等の役割)

第7条 学校等は、若者の活躍推進に関し、次に掲げる役割を果たすよう努めるものとする。

- (1) 若者の地域活動への参加、自主的な活動の促進等を通じて、若者の社会参画を支援すること。
- (2) 市が実施する施策をはじめ、若者の活躍推進のための取組に積極的に協力すること。

(事業者の役割)

第8条 事業者は、若者の活躍推進に関し、次に掲げる役割を果たすよう努めるものとする。

- (1) 若者の自主的な活動に対する支援、若者との交流活動の実施等を通じて、若者の社会参画を支援すること。
- (2) 市が実施する施策をはじめ、若者の活躍推進のための取組に積極的に協力すること。

(市民活動団体の役割)

第9条 市民活動団体は、若者の活躍推進に関し、次に掲げる役割を果たすよう努めるものとする。

- (1) それぞれが持つ目的や理念を実現しようとする活動を通じて、若者の自己形成及び成長を支援すること。
- (2) 若者が自由に意見を言える環境づくり、必要な情報の提供、助言その他の支援を行うこと。
- (3) 市が実施する施策をはじめ、若者の活躍推進のための取組に協力すること。

(市の責務)

第 10 条 市は、若者の活躍推進に関する施策を総合的かつ計画的に実施するものとする。

2 市は、前項の施策を実施するに当たっては、若者、市民、地域コミュニティ、学校等、事業者、市民活動団体等の意見を反映させるよう努めるとともに、それらの者と相互に連携するよう努めるものとする。

3 市は、若者の活躍を推進するための環境整備を図るものとする。

4 市は、この条例の目的を達成するため、必要に応じて財政上の措置その他の措置を講じるものとする。

(推進計画の策定等)

第 11 条 市は、若者の活躍推進に関する施策を実施するため、若者の活躍推進に関する計画(以下「推進計画」という。)を策定するものとする。

2 推進計画は、次に掲げる事項について定めるものとする。

(1) 若者の活躍推進に関する基本方針

(2) 若者の活躍推進に関する施策

(3) 前 2 号に掲げるもののほか、若者の活躍推進を総合的かつ計画的に推進するために必要な事項

3 市は、推進計画の策定に当たっては、若者をはじめとする関係者から広く意見を聴くものとする。

4 市は、推進計画を策定したときは、その内容を速やかに公表するものとする。

5 前 2 項の規定は、推進計画の変更について準用する。

(施策の基本となる事項)

第 12 条 市は、若者の活躍推進を図るため、次に掲げる事項を施策の基本とする。

(1) 若者の意見の収集に関すること。

(2) 若者の社会参画の仕組みに関すること。

(3) 若者の自主的な活動に対する支援及び協力に関すること。

(4) 交流及び連携に関すること。

(5) 広報及び啓発に関すること。

(6) 前各号に掲げるもののほか、若者の活躍推進のために必要な事項

(議会の取組等)

第 13 条 議会は、若者の活躍推進に関する施策が効果的に推進されるよう監視及び評価を行うとともに、必要に応じて提言等を行うものとする。

2 議会は、若者と交流する機会を設け、若者の政治参画に対する意識の醸成に努めるとともに、その意見の把握に努めるものとする。

(委任)

第 14 条 この条例の施行に関し必要な事項は、市長が別に定める。

附 則

この条例は、令和 5 年 4 月 1 日から施行する。